

令和元年度

大阪市立大学
学術情報総合センター
事業年報

令和2年10月

ご あ い さ つ

大阪市立大学学術情報総合センターは大学図書館機能と情報処理・ネットワーク機能を一体的に統合した組織として平成 8 年 10 月に開設されました。

開設後 23 年の間に、情報通信技術のめざましい発展に伴い、教育・研究活動に不可欠な学術情報を取り巻く環境は大きく変化しました。

近年、我が国においては、学術情報のオープンアクセス、オープンデータの取組みに関して研究成果の利活用を促進する観点から、論文のオープンアクセスが推進されています。その一連の取組みとしてオープンアクセス（情報公開）については、J P C O A R（オープンアクセスリポジトリ推進協会）が発足し、平成 29 年 4 月より本格的に活動を開始しております。さらに国内外での電子書籍の急速な普及は、利便性や価格面の観点から個人向けのみに止まらず大学図書館をも視野に入れ発展しております。

そこで、本学におきましても、オープンアクセス方針を策定し、本学において生産された研究成果を広く学内外に公開することで、学術研究のさらなる発展に寄与するとともに機関リポジトリ O C U R A の利用促進を図ってまいりました。

また、大学教育においても反転授業やアクティブラーニングといった新たな授業スタイルが導入されつつあり、情報通信技術（I C T）の提供や活用が必要不可欠なものとなっております。

平成 30 年度に運営委員会を再編し、図書部会事項については運営委員会に集約し、教育研究用情報システムについては、新たに発足した教育研究用情報システム実務者会議で取り扱うことといたしました。また、利用者の満足度を高めると同時に将来構想策定に向けた参考資料とするため、学生対象のアンケートについて集計報告し、教員アンケートも実施いたしました。

最後になりましたが、今後は大阪府立大学との大学統合に向けて、検討すべき多くの課題があります。関係各位におかれましては、今後とも当センターの運営にご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和 2 年 10 月

大阪市立大学学術情報総合センター
所長 山崎 孝史

目 次

1. 令和元年度の主な動き	1
2. 日 誌	
(1)行 事	3
(2)各種会議	3
(3)主な訪問者	4
3. 企画展示	5
4. 主な刊行物	6
5. ガイダンス	
(1)ライブラリーガイダンス	8
(2)医学分館ライブラリーガイダンス	9
(3)情報処理システムガイダンス	9
6. サービス対象者数	10
7. 地域貢献	10
8. 決算	11
9. 図書部門	
(1)資料受入状況	12
(2)利用状況	21
(3)レファレンスサービス利用状況	24
(4)相互連携	25
(5)公開データベース利用状況	26
(6)電子リソース利用状況	27
10. 情報処理部門	
教育研究用情報処理システム	29
11. 教育・研究部門	
(1)教員組織	33
(2)教 育	33
(3)研 究	34
(4)センター業務	35
12. センターの組織	
(1)管理機構図	36
(2)運営委員会委員	37
(3)事務組織	38
13. 施設概要	39
参考資料	1～12

1. 令和元年度の主な動き

【運営委員会】

令和元年度は、運営委員会を9回開催した（内1回はメール会議）。学術情報課から下記の重要案件等について議案を提出し、情報推進課から教育研究用情報システム実務者会議（以下、「実務者会議」）に関する報告を行った。

- ・ 図書館ワーキングについて
- ・ 研究費による図書購入について
- ・ 全学共通電子ジャーナルについて
- ・ 学生選書ツアーの実施について/ガイダンスの実施について
- ・ 利用者アンケート（学生対象）の結果について/教員アンケートの結果について
- ・ 子育て中の研究者支援について
- ・ 交通機関並びに気象条件による学術情報総合センターの開閉館について

また、学術情報総合センターの将来構想に関するワーキング(WG)を7回行い、その発展形として将来構想委員会を4回開催した。

【センター教員組織】

令和元年度は10月に教育研究システムの更新があり、教育研究用情報処理システム実務者会議を中心としてシステム構築に貢献した。システム稼働後は、運用管理に従事している。

また、学術情報総合センター将来構想の検討や、利用者アンケート分析にも携わっている。

【図書部門】

令和元年度は学生サービスの向上を図るため、前年の学生アンケートに引き続き、教員を対象とした「学部学生の図書館利用に関するアンケート」を実施した。

前年から進めていた図書館システムのリプレイスについては、夏から秋にかけてテスト等をおこない、これまでと同様の富士通 iLiswave-J を使用した新システムを令和2年1月にリリースした。

学術機関リポジトリ OCURA をプラットフォームとした学内紀要の電子ジャーナル化を推し進め、『人権問題研究』『都市防災研究論文集』の2誌を新たに追加した。

また、大阪府立大学図書館と共同で、「大阪府立大学・大阪市立大学 図書館シンポジウム：オープンアクセス-これまでとこれから-」12月17日（火）13:00～16:00を大阪府立大学中百舌鳥キャンパスにおいて開催した。

新型コロナウイルス感染症に対する本学の方針に従い、3月には本館、医学分館とも臨時休館を行った。

(本館)

前年より進めている育児中の利用者支援の一環として、秋には1階・2階のトイレをユニバーサルトイレとして改修を行うほか、2階ミニ学習室について授乳室としての利用を可能にするためにロールスクリーンを設置するなど施設整備を行った。

新型コロナウイルス感染症感染防止のため、3月2日にはグループ学習室などの閉鎖を行ったが、本学の方針に従い急遽3月4日から20日を臨時閉館とし、その後も4月8日まで期間を延長した。ただし、利用者からの強い要請があったことから、3月23日から26日までの間は、貸出サービスのみ学内者に限定して行った。

(医学分館)

資料の充実と利便性の向上をはかるため、医学書院の「今日の診療」をイントラネット版(DVD-ROM)からWeb版にバージョンアップした。「今日の診療」に掲載されているコンテンツは毎年更新されているが、このバージョンアップにより毎年の更新時期が半年ほど早まり、最新版をできるだけ早く利用者に提供できるようになった。

ラーニングコモンズ(イーコモ)内のリラックスコーナーについて、模様替えを行った。医学分館内にあ
る小説などを集めて配架したり、ゆったり座れる椅子を配置したりするなど利用者がくつろげるよう工夫した。

新型コロナウイルス感染症の影響により医学分館も3月8日から臨時休館したが、各出版社が無料公開している新型コロナウイルス感染症関連の情報をまとめたリンク集を作成し、ホームページに挙げることで利用者に提供した。

【情報処理部門】

平成26年に導入したシステムの借入期間終了(令和元年9月)に伴い、教育研究用情報処理システムの主管である学術情報総合センター教員を中心に、情報基盤センター教員、授業での利用者として文系・理系教員の代表者を交えて、システム更新を実施した。半年間にわたる構築業者との仕様検討会議・機器入替等を経て、当初の予定通り、令和元年10月に新システムの運用を開始した。

なお、今回のシステム更新では、端末の老朽化並びに各種機器の保守、サポート期限が迫っていた「外国語特別演習室」及び「図形科学演習室」のシステムを教育研究用情報処理システムと統合することで、教育系システムにかかるTCO(総保有コスト)削減を実現した。

また、教育研究用情報処理システムを安定的に運用し、円滑な授業運営に資するため、計画的なメンテナンスやソフトウェアのアップデート、随時不具合発生時の対応を行った。

【恒藤記念室】

平成22年度に、大学史資料室を中心として立ち上げられた学内研究「大阪市立大学と恒藤恭一都市が大学をもつ理由の歴史的研究」を契機とし、以降、シンポジウムの開催及び恒藤記念室叢書発行を継続して行ってきた。今年度は恒藤恭一の1948年、1949年の学長時代の日記と、同年の講演等レジュメの翻刻、および解説を掲載した『恒藤記念室叢書8』を刊行した。また、次年度開催予定のシンポジウムについては、「(仮題)公立大学の意義：過去・現在・未来」をテーマとして準備をすすめた。

2. 日 誌

(1) 行 事

平成 31 年 4 月 29 日	市大授業（学情見学）
令和元年 8 月 8～9 日	大阪市立大学オープンキャンパス（阿倍野）医学分館見学
令和元年 8 月 10～11 日	大阪市立大学オープンキャンパス（学情見学）
令和元年 10 月 23 日	学生選書ツアー（阿倍野）
令和元年 10 月 24 日	学生選書ツアー（杉本）
令和元年 11 月 3 日	大阪市立大学ホームカミングデー（キャンパスツアー）
令和元年 11 月 14 日～15 日	大阪市立咲くやこの花中学校職業体験

(2) 各種会議

学術情報総合センター運営委員会開催日

第 1 回	平成 31 年 4 月 24 日
第 2 回	令和元年 5 月 22 日
第 3 回	令和元年 6 月 26 日
第 4 回	令和元年 7 月 24 日
第 5 回	令和元年 9 月 25 日
第 6 回	令和元年 10 月 23 日
第 7 回	令和元年 11 月 27 日
第 8 回	令和 2 年 1 月 22 日
第 9 回	令和 2 年 3 月 18 日（メール会議）

医学分館運営委員会開催日

第 1 回	令和元年 5 月 29 日
第 2 回	令和元年 7 月 23 日
第 3 回	令和 2 年 3 月 6 日 ※メール開催

電子ジャーナル等検討委員会開催日

第 1 回	令和 2 年 3 月 17 日
-------	-----------------

学術情報総合センター将来構想ワーキング開催日

第 1 回	平成 31 年 4 月 22 日
第 2 回	令和元年 5 月 22 日
第 3 回	令和元年 6 月 24 日
第 4 回	令和元年 7 月 22 日
第 5 回	令和元年 7 月 24 日
第 6 回	令和元年 9 月 20 日
第 7 回	令和元年 10 月 21 日

学術情報総合センター将来構想委員会開催日

第 1 回	令和元年 11 月 27 日
第 2 回	令和元年 12 月 18 日
第 3 回	令和 2 年 1 月 22 日
第 4 回	令和 2 年 2 月 12 日

教育研究用情報処理システム実務者会議開催日（全体）

教育研究用情報処理新システム構築にかかるキックオフ	令和元年 4 月 15 日
---------------------------	---------------

教育研究用情報処理システム実務者会議開催日（実務者）

第 1 回	令和元年 5 月 20 日
第 2 回	令和元年 7 月 29 日
第 3 回	令和元年 9 月 24 日
第 4 回	令和元年 11 月 19 日
第 5 回	令和元年 1 月 17 日
第 6 回	令和 2 年 3 月 13 日～3 月 17 日 ※メール開催

(3) 主な訪問者

31. 4. 3	退職者会
4. 6	平成 4 年生物科学卒業生
4. 29	市大授業参加者
5. 16	上海大学表敬訪問
5. 25	新入生保護者懇談会
5. 25	春陽会（家政学部卒業生同窓会）
5. 28	初芝立命館高等学校
5. 29	ハノイ医科大学
5. 31	有馬高校
6. 4	エンデランカレッジ / フィリピン
6. 4	イリノイ工科大学
6. 7	商学部平泉ゼミ昭和 52 年卒業生
6. 12	高大連携の商業高校生
6. 14	大阪府立花園高等学校
6. 15	愛媛県立今治西高等学校
7. 16	華東師範大学
7. 25	大阪府立佐野高等学校
8. 3	高校生のための先端科学研修参加者
8. 7	第 39 回多文化キッズサマースクール・オリニマダン中学生の部
8. 8	球友会（市大ボーリング部 OB 会
8. 9	1970 年卒理学部数学科同期会
9. 2	デラサール大学 / フィリピン
9. 6	S48 入学古建築ゼミ同窓会
9. 18	島根県智郡邑南町立羽須美中学校
9. 18	海外事情研究会同窓会
10. 5	昭和 42 年法学部入学同窓会
10. 20	すみよし博覧会
10. 15	全南大学
10. 26	第 16 回高校化学グランドコンテスト参加者
11. 1	住吉区老人福祉センター
11. 3	ホームカミングデー参加者
11. 9	S56 生活科学部卒同窓会
11. 20	つらら会（体操部 OB）同窓会
11. 22	大阪市立高等学校
12. 13	桃山学院高等学校
12. 23	兵庫県立川西緑台高等学校
R02. 1. 6	ソウル市立大学
1. 6	Thammasat University / タイ
1. 16	某学校/ネパール

計 42 件 1,038 名

3. 企画展示

平成31年 4/3 - 5/9	本で市大に出会う ―大学生活に役立つ本―
令和元年 5/7 - 5/26	平成のノーベル賞
5/10 - 6/13	スタディ・スキル入門
5/28 - 7/1	中国の魅力 再発見 ―「チャイナ・フェスティバル―美麗中華2019―」に併せて―
6/19 - 7/8	知りたい！の入り口 新書フェア
7/3 - 8/11	世界建築旅行！
7/5 - 8/11	百舌鳥・古市古墳群
8/16 - 8/25	教員著作と市大ゆかりの人の本
8/16 - 9/7	人形浄瑠璃文楽を楽しむ ―「上方文化講座」にあわせて― 〈2019年度講座「心中天網島」〉
9/9 - 9/23	防災 ―もしもの時のためにできること―
9/24 - 10/8	動物大集合
10/9 - 10/23	図書館で英語学習
10/24 - 11/20	SDGs ―持続可能な開発目標―
11/18 - 12/5	ノンフィクション
11/28 - 12/15	就職応援
12/16 - 1/17	学生選書2019
12/19 - 1/17	この本、学情にもうあったんか！（学生選書重複図書の展示）
令和2年 1/20 - 2/2	選書を読む
1/20 - 2/16	（文学研究科企画展示） 響きあう和歌 百人一首と歌仙絵 ―森文庫の歌書 その二―
2/3 - 2/16	Sweets!!Sweets!!Sweets!!
2/17 - 3/3	レファレンス・ブック

（医学分館）

平成31年 2/12 - 4/27	研修医・臨床実習生の Best Books
3/1 - 5/11	新人看護師受入準備お手伝いします！
3/25 - 5/11	看護師デビュー応援します
令和元年 5/13 - 6/29	レポート・論文の書き方
6/24 - 9/30	多読に挑戦
9/9 - 10/31	学生選書の魅力
11/3 - 12/23	BOOK REVIEWを読む
12/19 - 2/29	学生選書2019
令和2年 2/20 - 6/30	キラキラナースを目指す！育てる！！

4. 主な刊行物

ライブラリーサービス利用案内ー学部学生・学部研修生編ー	平成 31 年 4 月
ライブラリーサービスガイド-学部学生・学部研修生編-（英語版）	平成 31 年 4 月
ライブラリーサービス利用案内ー大学院学生・院研修生・研究生編ー	平成 31 年 4 月
ライブラリーサービス利用案内ー教員・非常勤講師等編ー	平成 31 年 4 月
ライブラリーサービス利用案内ー職員・学外研究者等編ー	平成 31 年 4 月
ライブラリーサービス利用案内ー登録市民・卒業生編ー	平成 31 年 4 月
図書市民利用制度のご案内	平成 31 年 4 月
フロアガイド	平成 31 年 4 月
雑誌センターゾーンを利用する	平成 31 年 4 月
マルチメディアゾーンを利用する	平成 31 年 4 月
資料の配置場所・利用方法	平成 31 年 4 月
図書の並び方	平成 31 年 4 月
学習・勉強スペースを活用する	平成 31 年 4 月
所蔵資料の複写について	平成 31 年 4 月
Web サービス（学内者限定）	平成 31 年 4 月
P C ・インターネットを利用する（学内者）	平成 31 年 4 月
購入希望図書制度	平成 31 年 4 月
相互利用サービス①文献複写	平成 31 年 4 月
相互利用サービス②図書借用	平成 31 年 4 月
相互利用サービス③訪問利用	平成 31 年 4 月
大阪市立図書館からの取り寄せ	平成 31 年 4 月
包括連携協定による大阪府立大学の利用	令和元 年 6 月
包括連携協定による関西大学の利用	平成 31 年 4 月
卒業・修士・博士論文の利用	平成 31 年 4 月
電動集密書架の使い方	平成 31 年 4 月
市大蔵書検索 OPAC（オーパック）	平成 31 年 4 月
市立大学蔵書検索 OPAC（オーパック） Supplement	平成 31 年 4 月
データベース（学内限定）ガイド	平成 31 年 4 月
電子リソース検索利用ガイド	平成 31 年 4 月
CiNii Articles 日本の論文を探す	平成 31 年 4 月
CiNii Books 大学図書館の本をさがす	平成 31 年 4 月
Webcat Plus	平成 31 年 4 月
EndNote Basic（文献管理ソフト）	平成 31 年 4 月
地図を調べる（近現代の大阪）	平成 31 年 4 月
新聞記事を調べる	平成 31 年 4 月
英語の本を読む	平成 31 年 4 月
センターで英語学習	平成 31 年 4 月

(医学分館)

医学分館サービスガイド	令和2年3月
医学分館サービスガイド(卒業生・旧職員)	令和2年3月
医学分館利用案内(市民・医療従事者)	令和2年3月
医療従事者利用制度	令和2年3月
OPAC (オーパック)	令和2年3月
電子リソースガイド	令和元年8月
Web サービス (阿倍野)	令和元年9月
相互利用 (複写依頼・図書借用) サービス	令和元年8月
データベースガイド (阿倍野)	令和2年3月
PubMed 簡単マニュアル	令和2年3月
医中誌 Web 簡単マニュアル	令和2年3月
CINAHL 簡単マニュアル	令和元年11月
CiNii Articles 簡単マニュアル	令和元年10月
文献の探し方ガイド	令和元年11月
EndNote basic 簡単マニュアル	令和元年12月
大阪市立図書館からの取寄せ	令和元年8月

5. ガイダンス

(1) ライブラリーガイダンス

新入生向け	学部学生	平成31年 4月1日	7 回	1390 名
	大学院学生	平成31年 4月3・8日	4 回	47 名
授業連携	商学部		16 回	506 名
	経済学部		11 回	159 名
	法学部		9 回	332 名
	文学部		7 回	101 名
	理学部		1 回	46 名
	工学部		5 回	199 名
	生活科学部		4 回	130 名
	都市経営(梅田サテライト)		2 回	71 名
	全学共通		23 回	494 名
データベース講習会	SciFinder	平成31年 4月12日	2 回	23 名
	EBSCO	令和元年 5月20日	1 回	1 名
	Web of Science	令和元年 7月3日	1 回	14 名
	eol	令和元年 10月25日	1 回	10 名
	朝日新聞	令和元年 11月28日	1 回	4 名
学情クイズラリー(新入生向け・自由参加)		平成31年 4月8～28日		36 名
学生向け学修支援セミナー(OCUラーニングセンター共催)				
*回数、参加人数は「文献検索」実施回のみを集計				
	レポートのいろは	令和元年 7月	4 回	19 名
	レポートのいろは(基礎編)	令和元年 12月、令和2年1月	2 回	16 名
	レポートのいろは(演習編)	令和元年 12月、令和2年1月	4 回	9 名

(2) 医学分館ライブラリーガイダンス

新入者向け 教員（看護学研究科含む）	平成31年 4月1日	1回	27名
医学科	4月1日	1回	95名
看護学科	4月1日	1回	58名
看護学研究科	4月1日	1回	8名
新任看護師	4月2日	1回	85名
医学研究科	4月10日	1回	11名

対象別	医学科	1回生	令和元年 5月21日・6月25日	2回	104名
		2回生	平成31年 4月8日	1回	83名
		3回生	令和元年 9月3・5・6日	3回	96名
		4回生	令和元年 12月13日	1回	82名
	看護学科	1回生	令和元年 5月28日	1回	56名
		3回生	令和元年 5月21日	1回	51名
		4回生	令和元年 4月17日	1回	37名
	医学研究科	修士・博士	令和元年 5月10日	2回	57名
		*医学分館主催のデータベース講習会を選択して受講			
	看護学研究科	修士・博士	令和元年 5月10日	1回	9名
	新任研修医		令和2年 3月19日	2回	60名

データベース等講習会

EBM Reviews+Cochrane Library	令和元年 5月10日	1回	13名 *
雑誌論文収集法	令和元年 7月2・3・4・5日	4回	8名
Web of Science+JCR(秘書)	令和元年 5月28日	1回	5名
Web of Science, JCR, EndNote basic	令和元年 5月28日	1回	14名 *
CINAHL講習会	令和元年 5月31日	1回	10名
UpToDate Anywhere	令和元年 6月10日	1回	9名 *
医中誌Web	令和元年 7月9日～11日	3回	2名
PubMed(初級)	令和元年 7月16～19日	4回	6名
EndNote basic入門	令和元年 7月23～25日	3回	7名
PubMed(中級)+EndNote basic	令和元年 7月29～30日	2回	14名 *
Web of Science+JCR	令和元年 7月3日	1回	19名 *

*は、医学研究科「医学研究基本演習(医学分館担当)」に該当する講習会

オーダーメイド講習会

なし

(3) 情報処理システムガイダンス

Mathematica講習会（演習形式）	令和元年 5月22日	1回	15名
SPSS講習会（操作入門編）	令和元年 5月21日	1回	17名
SPSS講習会（データ加工編）	令和元年 5月28日	1回	14名

6. サービス対象者数

	教員	職員	大学院 学生	学部学生 (1部)	準学内者	卒業生	登録市民	その他	合 計
経営学研究科 ・商 学 部	32	-	56	956	-	-	-	-	1,044
経済学研究科 ・経済学部	30	-	50	942	-	-	-	-	1,022
法学研究科 ・法 学 部	33	-	57	716	-	-	-	-	806
文学研究科 ・文 学 部	63	-	162	721	-	-	-	-	946
理学研究科 ・理 学 部	111	-	246	690	-	-	-	-	1,047
工学研究科 ・工 学 部	106	-	454	1,242	-	-	-	-	1,802
医学研究科 ・医学部医学科	255	-	285	587	-	-	-	-	1,127
生活科学研究科 ・生活科学部	45	-	154	512	-	-	-	-	711
創造都市研究科	-	-	72	-	-	-	-	-	72
都市経営研究科	13	-	126	-	-	-	-	-	139
看護学研究科 ・医学部看護学科	19	-	35	229	-	-	-	-	283
都市健康・スポーツ 研究センター	6	-	-	-	-	-	-	-	6
大学教育研究 センター	4	-	-	-	-	-	-	-	4
英語教育開発 センター	6	-	-	-	-	-	-	-	6
人権問題研究 センター	4	-	-	-	-	-	-	-	4
都市研究プラザ	3	-	-	-	-	-	-	-	3
複合先端研究 機構	3	-	-	-	-	-	-	-	3
	-	334	-	-	-	-	-	-	334
医学部付属病院 勤務医療職員	-	1,213	-	-	-	-	-	-	1,213
そ の 他	-	-	-	-	2,321	1,083	1,748	221	5,373
合 計	733	1,547	1,697	6,595	2,321	1,083	1,748	221	15,945

注1) 教員・職員・大学院学生・学部学生は令和元年5月1日現在の在籍人数

注2) 準学内者・その他(大学連携等)は平成31年4月1日～令和2年3月31日の間の有効登録者数
登録市民・卒業生・その他(旧教職員)は令和2年3月31日現在の登録者数

注3) 学部学生(2部)の学生は0となったため、表から削除した。

注4) 利用者区分の「準学内者」は研修生・研究生・非常勤講師・各種研究員・臨床研修
医・有期雇用職員等を指し、「その他」は旧教職員および大学連携による利用者を指
す。「卒業生」には大学院修了生利用制度の登録者、「登録市民」に医療従事者利用
制度、夢基金寄附者利用制度の登録者が含まれる。

7. 地域貢献

「市民に開かれた大学」「地域に貢献する大学」として、以下の二つの制度を実施している。
これは地域の方の生涯学習を積極的に支援するため、本学における教育・研究機能に支障をきたさない
本学が所蔵する学術資料を市民に提供するものである。

(1) 「図書市民利用制度」(平成8年10月、センター開設より実施)

20歳以上(他大学学生及び大学受験生を除く)、大阪市内に在住または在勤する者。

(2) 「医療従事者利用制度」(平成29年4月より実施)

大阪府内に、在住・在勤する医療関係資格(医師・看護師・医療技術職など)を持つ者で、
医学分館のみの利用を認める。

利用制度	登録者数	入館者数	貸出冊数
図書市民利用制度	1,643 (761)	29,825	7,080
医療従事者利用制度	32 (15)	249	

注1) 登録者数の()内の数字は、平成30年度の登録者数を内数で示す

注2) 貸出冊数には、夢基金寄附者利用制度登録者による冊数も含む。

8. 決 算

令和元年度支出決算

(単位：千円)

目 的	事 項	決算額	備 考
学術情報総合センター 事業費	支援図書購入費	27,871	※西田文庫基金を含む
	教育図書購入費	30,387	
	研究図書購入費	29,582	
	研究雑誌費	179,263	
	雑誌製本費	2,509	
	古文書デジタル化経費	564	
	図書業務運営経費	76,701	
	図書業務（ILL、郵送）経費	3,102	
	トランザクション経費	18	
	入退館システム保守経費	10,109	
	図書関連機器借上げ経費	24,806	
	一般事務費	3,242	
	書架清掃	1,295	
	オープンアクセス参画	123	
	学習環境整備事業	890	
	図書館システム更新事業	5,249	
	学術認証サーバの更新事業	4,698	
	会議室等施設整備費	479	
	合 計	400,888	

(注) 上記の支出決算には、人事課人件費、光熱水費、警備・清掃経費、中央監視盤、維持改修経費等を含まない。(ただし、書架清掃にかかる物件費、特記した改修費は含んでいる)

圖 書 部 門

9. 図書部門

(1) 資料受入状況

①年間受入冊数

		和				洋				合 計			
		購入	寄贈	小計	払出	購入	寄贈	小計	払出	購入	寄贈	小計	払出
本館	経営学研究科・商学部	172	20	192	1,350	95	1	96	578	267	21	288	1,928
	経済学研究科・経済学部	78	58	136	1,182	79	458	537	476	157	516	673	1,658
	法学研究科・法学部	712	557	1,269	305	559	322	881	99	1,271	879	2,150	404
	文学研究科・文学部	1,251	979	2,230	941	423	141	564	394	1,674	1,120	2,794	1,335
	理学研究科・理学部	36	223	259	452	34	186	220	199	70	409	479	651
	工学研究科・工学部	113	49	162	642	22	13	35	186	135	62	197	828
	生活科学研究科・生活科学部	175	139	314	1,254	18	1	19	110	193	140	333	1,364
	都市経営研究科	94	11	105	33	12	0	12	4	106	11	117	37
	教育推進本部	82	14	96	373	16	0	16	13	98	14	112	386
	研究推進本部	40	206	246	3	0	14	14	2	40	220	260	5
	旧経済研究所	-	-	-	1,096	-	-	-	883	-	-	-	1,979
	学術情報総合センター	7,360	1,466	8,826	4,579	323	87	410	1,798	7,683	1,553	9,236	6,377
	小 計	10,113	3,722	13,835	12,210	1,581	1,223	2,804	4,742	11,694	4,945	16,639	16,952
分館	医学研究科・医学部	304	101	405	11	58	18	76	0	362	119	481	11
	看護学研究科	291	35	326	56	14	3	17	2	305	38	343	58
	学術情報総合センター 医学分館	599	304	903	2	9	35	44	0	608	339	947	2
	小 計	1,194	440	1,634	69	81	56	137	2	1,275	496	1,771	71
合 計		11,307	4,162	15,469	12,279	1,662	1,279	2,941	4,744	12,969	5,441	18,410	17,023

※都市経営研究科の中に創造都市研究科の受入冊数を含む。

※教育推進本部の中に大学教育研究センター、都市健康・スポーツ研究センター、英語教育開発センター、教育授業費の受入冊数を含む。

※研究推進本部の中に人権問題研究センター、複合先端研究機構、研究支援課の受入冊数を含む。

※医学研究科・医学部の中に附属病院の受入冊数を含む。

②単行書受入冊数

		和				洋				合 計			
		購入	寄贈	小計	払出	購入	寄贈	小計	払出	購入	寄贈	小計	払出
本館	経営学研究科・商学部	113	20	133	1,349	10	1	11	578	123	21	144	1,927
	経済学研究科・経済学部	43	58	101	1,176	37	458	495	473	80	516	596	1,649
	法学研究科・法学部	592	449	1,041	305	361	322	683	99	953	771	1,724	404
	文学研究科・文学部	1,131	939	2,070	936	249	84	333	394	1,380	1,023	2,403	1,330
	理学研究科・理学部	24	223	247	451	3	185	188	199	27	408	435	650
	工学研究科・工学部	111	49	160	622	11	12	23	185	122	61	183	807
	生活科学研究科・生活科学部	157	139	296	1,246	8	1	9	110	165	140	305	1,356
	都市経営研究科	88	11	99	33	8	0	8	4	96	11	107	37
	教育推進本部	57	14	71	369	16	0	16	12	73	14	87	381
	研究推進本部	27	179	206	3	0	14	14	2	27	193	220	5
	旧経済研究所	-	-	-	1,043	-	-	-	850	-	-	-	1,893
	学術情報総合センター	6,395	983	7,378	4,577	174	71	245	1,798	6,569	1,054	7,623	6,375
	小 計	8,738	3,064	11,802	12,110	877	1,148	2,025	4,704	9,615	4,212	13,827	16,814
分館	医学研究科・医学部	269	52	321	8	58	9	67	0	327	61	388	8
	看護学研究科	184	31	215	47	1	2	3	2	185	33	218	49
	学術情報総合センター 医学分館	521	231	752	2	9	18	27	0	530	249	779	2
	小 計	974	314	1,288	57	68	29	97	2	1,042	343	1,385	59
合 計		9,712	3,378	13,090	12,167	945	1,177	2,122	4,706	10,657	4,555	15,212	16,873

※都市経営研究科の中に創造都市研究科の受入冊数を含む。

※教育推進本部の中に大学教育研究センター、都市健康・スポーツ研究センター、英語教育開発センター、教育授業費の受入冊数を含む。

※研究推進本部の中に人権問題研究センター、複合先端研究機構、研究支援課の受入冊数を含む。

※医学研究科・医学部の中に附属病院の受入冊数を含む。

③編入（製本）雑誌受入冊数

		和				洋				合 計			
		購入	寄贈	小計	払出	購入	寄贈	小計	払出	購入	寄贈	小計	払出
本館	経営学研究科・商学部	56	0	56	0	85	0	85	0	141	0	141	0
	経済学研究科・経済学部	35	0	35	5	42	0	42	3	77	0	77	8
	法学研究科・法学部	120	108	228	0	198	0	198	0	318	108	426	0
	文学研究科・文学部	81	39	120	0	163	57	220	0	244	96	340	0
	理学研究科・理学部	12	0	12	0	31	1	32	0	43	1	44	0
	工学研究科・工学部	0	0	0	16	11	1	12	1	11	1	12	17
	生活科学研究科・生活科学部	12	0	12	0	10	0	10	0	22	0	22	0
	都市経営研究科	0	0	0	0	4	0	4	0	4	0	4	0
	教育推進本部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	研究推進本部	12	11	23	0	0	0	0	0	12	11	23	0
	旧経済研究所	－	－	－	49	－	－	－	33	－	－	－	82
	学術情報総合センター	942	469	1411	2	149	16	165	0	1091	485	1576	2
	小 計	1270	627	1897	72	693	75	768	37	1963	702	2665	109
	合 計	1485	752	2237	76	706	102	808	37	2191	854	3045	113
分館	医学研究科・医学部	35	49	84	3	0	9	9	0	35	58	93	3
	看護学研究科	102	3	105	1	13	1	14	0	115	4	119	1
	学術情報総合センター 医学分館	78	73	151	0	0	17	17	0	78	90	168	0
	小 計	215	125	340	4	13	27	40	0	228	152	380	4

※都市経営研究科の中に創造都市研究科の受入冊数を含む。

※教育推進本部の中に大学教育研究センター、都市健康・スポーツ研究センター、英語教育開発センター、教育授業費の受入冊数を含む。

※研究推進本部の中に人権問題研究センター、複合先端研究機構、研究支援課の受入冊数を含む。

※医学研究科・医学部の中に附属病院の受入冊数を含む。

④マルチメディア資料受入点数

		和				洋				合 計			
		購入	寄贈	小計	払出	購入	寄贈	小計	払出	購入	寄贈	小計	払出
本館	経営学研究科・商学部	3	0	3	1	0	0	0	0	3	0	3	1
	経済学研究科・経済学部	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	法学研究科・法学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	文学研究科・文学部	39	1	40	5	11	0	11	0	50	1	51	5
	理学研究科・理学部	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	工学研究科・工学部	2	0	2	4	0	0	0	0	2	0	2	4
	生活科学研究科・生活科学部	6	0	6	8	0	0	0	0	6	0	6	8
	都市経営研究科	6	0	6	0	0	0	0	0	6	0	6	0
	教育推進本部	25	0	25	4	0	0	0	1	25	0	25	5
	研究推進本部	1	16	17	0	0	0	0	0	1	16	17	0
	旧経済研究所	－	－	－	4	－	－	－	0	－	－	－	4
	学術情報総合センター	23	14	37	0	0	0	0	0	23	14	37	0
	小 計	105	31	136	28	11	0	11	1	116	31	147	29
	合 計	110	32	142	36	11	0	11	1	121	32	153	37
分館	医学研究科・医学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	看護学研究科	5	1	6	8	0	0	0	0	5	1	6	8
	学術情報総合センター 医学分館	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小 計	5	1	6	8	0	0	0	0	5	1	6	8

※都市経営研究科の中に創造都市研究科の受入冊数を含む。

※教育推進本部の中に大学教育研究センター、都市健康・スポーツ研究センター、英語教育開発センター、教育授業費の受入冊数を含む。

※研究推進本部の中に人権問題研究センター、複合先端研究機構、研究支援課の受入冊数を含む。

※医学研究科・医学部の中に附属病院の受入冊数を含む。

⑤雑誌受入タイトル数

		和			洋			合 計		
		購入	寄贈	小計	購入	寄贈	小計	購入	寄贈	小計
本館	経営学研究科 ・商学部	34	0	34	38	0	38	72	0	72
	経済学研究科 ・経済学部	43	0	43	26	0	26	69	0	69
	法学研究科 ・法学部	162	0	162	142	0	142	304	0	304
	文学研究科 ・文学部	113	0	113	95	0	95	208	0	208
	理学研究科 ・理学部	23	0	23	12	0	12	35	0	35
	工学研究科 ・工学部	25	0	25	14	0	14	39	0	39
	生活科学研究科 ・生活科学部	89	0	89	3	0	3	92	0	92
	創造都市研究科	6	0	6	7	0	7	13	0	13
	教育推進本部	18	0	18	2	0	2	20	0	20
	研究推進本部	19	0	19	2	0	2	21	0	21
	学術情報総合センター	576	3,087	3,663	36	222	258	612	3,309	3,921
	小 計	1,108	3,087	4,195	377	222	599	1,485	3,309	4,794
分館	医学研究科 ・医学部	42	0	42	11	0	11	53	0	53
	看護学研究科	54	0	54	0	0	0	54	0	54
	学術情報総合センター 医学分館	35	490	525	0	63	63	35	553	588
	小 計	131	490	621	11	63	74	142	553	695
合 計		1,239	3,577	4,816	388	285	673	1,627	3,862	5,489

※寄贈については各学部等からの提供分を含めたタイトル数である。

※教育推進本部の中に大学教育研究センター、都市健康・スポーツ研究センター、英語教育開発センター、教育授業費の受入タイトル。

※研究推進本部の中に人権問題研究センター、複合先端研究機構、研究支援課の受入タイトル数を含む。

※医学研究科・医学部の中に附属病院の受入タイトル数を含む。

※【雑誌所蔵タイトル数】

31,204タイトル（和 18,725、洋 12,479）

⑥蔵書数

		単行書			雑誌			マルチメディア			合計		
		和	洋	小計	和	洋	小計	和	洋	小計	和	洋	小計
本館	経営学研究科 ・商学部	55,031	64,522	119,553	7,206	15,570	22,776	550	2,366	2,916	62,787	82,458	145,245
	経済学研究科 ・経済学部	77,651	63,437	141,088	11,906	17,047	28,953	172	933	1,105	89,729	81,417	171,146
	法学研究科 ・法学部	66,539	97,087	163,626	16,269	19,992	36,261	1,482	3,858	5,340	84,290	120,937	205,227
	文学研究科 ・文学部	186,323	158,093	344,416	24,386	28,106	52,492	2,631	1,059	3,690	213,340	187,258	400,598
	理学研究科 ・理学部	23,129	49,513	72,642	4,480	61,233	65,713	33	230	263	27,642	110,976	138,618
	工学研究科 ・工学部	37,297	22,516	59,813	10,431	29,918	40,349	35	2	37	47,763	52,436	100,199
	生活科学研究科 ・生活科学部	58,775	20,270	79,045	8,771	11,940	20,711	468	12	480	68,014	32,222	100,236
	都市経営研究科	11,038	1,893	12,931	208	412	620	57	4	61	11,303	2,309	13,612
	教育推進本部	44,044	4,757	48,801	235	73	308	556	99	655	44,835	4,929	49,764
	研究推進本部	4,642	748	5,390	594	23	617	78	1	79	5,314	772	6,086
	旧経済研究所	71,667	25,844	97,511	3,494	1,048	4,542	31	0	31	75,192	26,892	102,084
	学術情報総合センター	632,157	146,534	778,691	106,132	38,299	144,431	22,340	3,638	25,978	760,629	188,471	949,100
	小計	1,268,293	655,214	1,923,507	194,112	223,661	417,773	28,433	12,202	40,635	1,490,838	891,077	2,381,915
分館	医学研究科 ・医学部	30,683	12,167	42,850	27,528	60,483	88,011	2,559	830	3,389	60,770	73,480	134,250
	看護学研究科	25,561	4,507	30,068	4,219	384	4,603	1,433	63	1,496	31,213	4,954	36,167
	学術情報総合センター 医学分館	12,390	561	12,951	2,211	538	2,749	214	0	214	14,815	1,099	15,914
	小計	68,634	17,235	85,869	33,958	61,405	95,363	4,206	893	5,099	106,798	79,533	186,331
合計		1,336,927	672,449	2,009,376	228,070	285,066	513,136	32,639	13,095	45,734	1,597,636	970,610	2,568,246

※蔵書数にマルチメディア資料を含む。
※都市経営研究科の中に創造都市研究科の蔵書数を含む。
※教育推進本部の中に大学教育研究センター、都市健康・スポーツ研究センター、英語教育開発センター、教育授業費の蔵書数を含む。
※研究推進本部の中に人権問題研究センター、複合先端研究機構、研究支援課の蔵書数を含む。
※旧教養部（平成6年3月31日付で廃止）蔵書は、教育推進本部に含む。
※旧原子力基礎研究所（平成元年3月31日付で廃止）蔵書は、理学研究科・理学部に含む
※学術情報総合センターの中に、平成14年度までの学術情報総合センター教員の蔵書数を含む。
※医学研究科・医学部の中に、附属病院の蔵書数を含む。
※H26年度より蔵書数は図書館システムの数値とする。
※H28年度より本館の蔵書数に旧経済研究所を含む。

⑦部局別図書資料購入費（資料種類別）

		購入区分	決算額												前年度比較		前年度図書費
			図書		雑誌		マルチメディア		電子ブック		電子ジャーナル		データベース		合計	増減	
			和	洋	和	洋	和	洋	和	洋	和	洋	和	洋			
本館	経営学研究科・商学部	研究用	345,896	74,738	768,879	2,022,701	22,286	0	0	0	0	5,185,817	0	732,480	9,152,797	△ 32,040	9,184,837
	経済学研究科・経済学部	研究用	163,357	846,496	424,937	906,082	0	0	0	0	11,495,334	0	804,168	14,640,374	918,557	13,721,817	
	法学研究科・法学部	研究用	3,830,302	5,862,121	1,750,466	5,958,046	0	0	0	0	913,801	581,333	777,600	19,673,669	△ 1,037,204	20,710,873	
	文学研究科・文学部	研究用	6,158,165	2,200,536	1,039,868	3,872,558	226,789	35,357	0	223,868	364,506	4,436,864	0	0	18,558,511	329,625	18,228,886
	理学研究科・理学部	研究用	859,516	367,439	291,176	1,120,951	0	0	460,405	13,304,785	0	22,983,143	0	3,322,616	42,710,031	12,151,601	30,558,430
	工学研究科・工学部	研究用	670,473	235,676	419,175	746,332	8,094	0	0	31,329	0	4,451,652	0	899,875	7,462,606	△ 218,400	7,681,006
	生活科学研究科・生活科学部	研究用	685,851	98,254	945,368	116,769	92,666	0	0	0	0	50,000	0	69,221	2,058,129	△ 415,773	2,473,902
	都市経営研究科	研究用	269,431	84,504	39,229	271,298	12,092	0	0	0	0	531,183	681,250	0	1,888,987	△ 631,148	2,520,135
	教育推進本部	研究用	250,806	77,770	211,796	170,321	402,196	0	0	0	0	182,662	0	0	1,295,551	△ 170,563	1,466,114
	研究推進本部	研究用	485,522	37,442	211,259	38,523	50,673	0	0	0	0	89,521	0	2,000,000	2,912,940	△ 33,122	2,946,062
	都市研究プラザ	研究用	0	0	0	325,148	0	0	0	0	0	1,090,013	106,929	0	1,522,090	179,351	1,342,739
	SciFinder支援費(法人)	研究用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,000,000	4,000,000	0	4,000,000
		研究用小計	13,719,319	9,884,976	6,102,153	15,548,729	814,796	35,357	460,405	13,559,982	364,506	51,409,990	1,369,512	12,605,960	125,875,685	11,040,884	114,834,801
	学術情報総合センター	センター用	17,295,993	1,770,279	7,159,754	1,960,761	162,289	0	784,641	178,430	689,358	2,689,183	5,069,916	17,205,500	54,966,104	1,142,104	53,824,000
全学共通電子ジャーナル経費		0	0	0	0	0	0	0	0	0	54,660,734	0	0	54,660,734	1,693,527	52,967,207	
補助金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
使途特定寄付金(西田)		2,252,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,252,000	0	2,252,000	
小計		19,547,993	1,770,279	7,159,754	1,960,761	162,289	0	784,641	178,430	689,358	57,349,917	5,069,916	17,205,500	111,878,838	2,835,631	109,043,207	
本館計			33,267,312	11,655,255	13,261,907	17,509,490	977,085	35,357	1,245,046	13,738,412	1,053,864	108,759,907	6,439,428	29,811,460	237,754,523	13,876,515	223,878,008
分館	医学研究科・医学部	研究用	1,078,032	1,005,100	1,132,720	716,799	0	0	0	24,640	0	53,259,896	0	631,800	57,848,987	△ 528,757	58,377,744
	看護学研究科	研究用	494,974	8,874	913,304	0	121,310	0	201,432	0	0	808,750	29,430	538,380	3,116,454	△ 55,450	3,171,904
		研究用小計	1,573,006	1,013,974	2,046,024	716,799	121,310	0	201,432	24,640	0	54,068,646	29,430	1,170,180	60,965,441	△ 584,207	61,549,648
	学術情報総合センター医学分館	センター用	2,250,250	211,559	1,269,386	0	0	0	79,805	0	0	0	0	0	3,811,000	△ 134,000	3,945,000
		使途特定寄付金(西田)	250,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	250,000	0	250,000
		小計	2,500,250	211,559	1,269,386	0	0	0	79,805	0	0	0	0	0	4,061,000	△ 134,000	4,195,000
	附属病院		144,251	72,837	219,050	0	0	0	0	0	1,956,900	2,390,092	144,100	6,050,000	10,977,230	2,830,333	8,146,897
	医学分館計			4,217,507	1,298,370	3,534,460	716,799	121,310	0	281,237	24,640	1,956,900	56,458,738	173,530	7,220,180	76,003,671	2,112,126
合計	研究用	15,292,325	10,898,950	8,148,177	16,265,528	936,106	35,357	661,837	13,584,622	364,506	105,478,636	1,398,942	13,776,140	186,841,126	10,456,677	176,384,449	
	センター用	19,546,243	1,981,838	8,429,140	1,960,761	162,289	0	864,446	178,430	689,358	2,689,183	5,069,916	17,205,500	58,777,104	1,008,104	57,769,000	
	全学共通電子ジャーナル経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	54,660,734	0	0	54,660,734	1,693,527	52,967,207	
	補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	使途特定寄付金(西田)	2,502,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,502,000	0	2,502,000	
	附属病院	144,251	72,837	219,050	0	0	0	0	0	1,956,900	2,390,092	144,100	6,050,000	10,977,230	2,830,333	8,146,897	
	総計	37,484,819	12,953,625	16,796,367	18,226,289	1,098,395	35,357	1,526,283	13,763,052	3,010,764	165,218,645	6,612,958	37,031,640	313,758,194	15,988,641	297,769,553	

※都市経営研究科の中に創造都市研究科の経費を含む。
※教育推進本部の中に大学教育研究センター、都市健康・スポーツ研究センター、英語教育開発センター、教育授業費の経費を含む。
※研究推進本部の中に人権問題研究センター、複合先端研究機構、研究支援課技術支援の経費を含む。
※都市研究プラザの雑誌費は前金払いのみ計上している。
※基礎的設備資料は平成16年度から予算化された。
※基礎的設備資料は平成30年度からセンター用を含む。

⑨ 資料配架状況

(a) 本 館

配 架 場 所		図 書	雑 誌	マルチメディア資料	計	割合
8 階	特殊資料ゾーン	158,660	31,969		190,629	8.8%
7 階	研究・閲覧ゾーン	293,639	5,209		298,848	13.8%
5 階	マルチメディアゾーン	2,437		36,845	39,282	1.8%
4 階	開架閲覧ゾーン	107,243			107,243	5.0%
3 階	開架閲覧ゾーン	138,472			138,472	6.4%
2 階	レファレンスゾーン	21,186	1,640		22,826	1.1%
B 1 階	雑誌センターゾーン		94,136		94,136	4.4%
B 2 階	デポジットゾーン	304,574	245,746		550,320	25.5%
B 3 階	デポジットゾーン	624,475			624,475	28.9%
そ の 他		210	81		291	0.0%
経研		90,406	4,497		94,903	4.4%
計		1,741,302	383,278	36,845	2,161,425	100.0%

(b) 分 館

配 架 場 所		図 書	雑 誌	マルチメディア資料	計	割合
あべのメディックス 9F		33,803	9,710	0	43,513	24.1%
あべのメディックス 8F		178	38,624	3,563	42,365	23.5%
医学分館棟 2～4 F		46,202	46,922	1,449	94,573	52.4%
計		80,183	95,256	5,012	180,451	100.0%

(2) 利用状況

① 開館日数

	本 館	分 館
月 ～ 金 曜 日	207	216
土 曜 日	42	42
日 曜 日	37	
合 計	286	258

臨時で終日休館した日は日数から除外
 (開館予定日数：本館310日、分館282日)
 臨時休館日
 令和元年10月12日 台風19号のため
 令和元年12月24・25日 図書館システムリプレイスのため
 令和2年3月4日から 新型コロナウイルス感染拡大防止のため

【お断り】・令和元年10月に、入館者計数システムの不具合により、入館者データの一部が記録されていないことが確認された。そのため入館者数は4月～10月まで実数より少なく計上されている。

② 入館者数

(a) 本 館

・令和2年3月4日から26日までの臨時休館中に入館者も計上している。

利用者 区分 学部区分	教員	職員	大学院 学生	学部学生	準学内者	卒業生	登録市民	その他	合 計
経営学研究科 ・ 商 学 部	264	-	1,561	39,968	-	-	-	-	41,793
経済学研究科 ・ 経 済 学 部	415	-	928	39,010	-	-	-	-	40,353
法学研究科 ・ 法 学 部	581	-	1,844	38,375	-	-	-	-	40,800
文学研究科 ・ 文 学 部	1,428	-	5,297	36,922	-	-	-	-	43,647
理学研究科 ・ 理 学 部	1,115	-	3,264	38,494	-	-	-	-	42,873
工学研究科 ・ 工 学 部	1,075	-	5,423	63,160	-	-	-	-	69,658
医学研究科 ・ 医学部医学科	154	-	52	4,200	-	-	-	-	4,406
生活科学研究科 ・ 生活科学部	507	-	2,384	15,388	-	-	-	-	18,279
都市経営研究科・ 創造都市研究科	109	-	3,087	-	-	-	-	-	3,196
看護学研究科 ・ 医学部看護学科	0	-	32	1,602	-	-	-	-	1,634
そ の 他	286	1,841	-	-	11,775	7,239	17,182	6,407	44,730
合 計	5,934	1,841	23,872	277,119	11,775	7,239	17,182	6,407	351,369

注1) 利用者区分の「準学内者」は、研修生・研究生・非常勤講師・各種研究員・臨床研修医等を指す。「卒業生」には大学院修了生利用制度登録者、「登録市民」には夢基金寄附者利用制度登録者が含まれる。(以下の項目も同様)

注2) 学部区分の「その他」の教員の欄は、看護学研究科、大学教育研究センター、都市健康・スポーツ研究センター、都市研究プラザが含まれる。

注3) 学術情報総合センター職員(準職員・派遣職員・委託職員含む)は除く

(b) 分 館

利用者 区分 学部区分	教員	職員	大学院 学生	学部学生	準学内者	卒業生	登録市民	その他	合 計
医学研究科 ・ 医学部医学科	1,076	-	1,173	40,687	-	-	-	-	42,936
看護学研究科 ・ 医学部看護学科	179	-	761	15,222	-	-	-	-	16,162
そ の 他	61	4,936	347	1,284	9,159	4,915	13,244	957	34,903
合 計	1,316	4,936	2,281	57,193	9,159	4,915	13,244	957	94,001

注1) 利用者区分の「準学内者」は、研修生・研究生・非常勤講師・各種研究員・臨床研修医等を指す。「卒業生」には大学院修了生利用制度登録者、「登録市民」には夢基金寄附者利用制度登録者、医療従事者利用制度登録者が含まれる。(以下の項目も同様)

注2) 学部区分の「その他」の教員の欄は、大学教育研究センター、健康都市・スポーツ研究センター、都市プラザが含まれる。

注3) 学術情報総合センター職員(準職員・派遣職員・委託職員含む)は除く

③ 施設利用状況

(a) 本 館

ア) 申込制施設

階	施 設 名	種別	定員	利用回数	備 考
10階	大 会 議 室	有料	276	185	
	会 議 室 A	有料	12	47	
	会 議 室 B	有料	16	61	
	会 議 室 C	有料	12	55	
	応 接 室	有料	8	76	
	特 別 会 議 室	有料	10	79	
	研 究 者 交 流 室	有料	76	105	
6階	セ ミ ナ ー ル ー ム	有料	40	5	土日祝・学生の長期休暇時のみ貸出
5階	AV資料視聴ブース等	無料	19	643	
	A V ホ ー ル	無料	54	265	
	グループ視聴室1～2	無料	12	7	2室
	グループ学習室5A～5D	無料	36	1,010	4室
4階	グループ学習室4A	無料	16	176	
3階	グループ学習室3A～3B	無料	16	1,177	2室
2階	ミニ学習室2A～2B	無料	6	876	2室
1階	文 化 交 流 室	有料	84	206	
B2階	閱 覧 個 室	無料	7	489	7室
B3階	閱 覧 個 室	無料	7	199	7室

イ) その他

階	施 設 名	種別	定員	利用人数	備 考
5階	ラーニング・コモンズ	無料	102	55,226	

(b) 分 館

階	施 設 名	種別	定員	利用回数	備 考
9階	閱 覧 個 室	無料	10	1,339	10室
	研 究 個 室	無料	3	1,692	3室
	PC ブ ー ス	無料	2	403	2ブース
8階	AV ブ ー ス	無料	4	27	2ブース
	PC ブ ー ス	無料	2	201	2ブース
	グ ル ー プ 学 習 室	無料	16	468	2室
	ミニグループ学習室	無料	4	384	1室
	グ ル ー プ 視 聴 室	無料	16	202	1室

④ 特別貸出・貸出状況

(a) 本 館

(単位:冊)

利用者区分 学部区分	特別貸出	貸 出									合 計
		教員	職員	大学院 学生	学部学生	準学内者	卒業生	登録市民	その他	小 計	
経営学研究科・商学部	151	626	-	1,289	4,347	-	-	-	-	6,262	6,413
経済学研究科・経済学部	157	219	-	308	4,094	-	-	-	-	4,621	4,778
法学研究科・法学部	3,100	545	-	446	5,474	-	-	-	-	6,465	9,565
文学研究科・文学部	2,440	1,215	-	3,596	9,827	-	-	-	-	14,638	17,078
理学研究科・理学部	351	366	-	1,375	5,431	-	-	-	-	7,172	7,523
工学研究科・工学部	218	421	-	2,563	6,003	-	-	-	-	8,987	9,205
医学研究科・医学部医学科		41	-	40	183	-	-	-	-	264	264
生活科学研究科・生活科学部	335	405	-	1,990	3,218	-	-	-	-	5,613	5,948
都市経営研究科・創造都市研究科	78	93	-	794	-	-	-	-	-	887	965
看護学研究科・医学部看護学科		5	-	51	119	-	-	-	-	175	175
そ の 他	346	142	1,928	2	0	6,788	2,602	7,080	754	19,296	19,642
合 計	7,176	4,078	1,928	12,454	38,696	6,788	2,602	7,080	754	74,380	81,556

注) 学部区分の「その他」の教員の欄は、大学教育研究センター、都市健康・スポーツ研究センター、都市研究プラザが含まれる。

(b) 分 館

利用者区分 学部区分	特別貸出	貸 出								合 計
		教員	職員	大学院 学生	学部学生	準学内者	卒業生	その他	小 計	
医学研究科・医学部医学科	319	439	-	329	1,950	-	-	-	2,718	3,037
看護学研究科・医学部看護学科	47	197	-	532	2,455	-	-	-	3,184	3,231
そ の 他	0	3	2,152	90	75	2,285	654	192	5,451	5,451
合 計	366	639	2,152	951	4,480	2,285	654	192	11,353	11,719

⑤ マルチメディア資料利用状況 (閲覧のみ)

(a) 本 館

利用者区分 学部区分	教員	職員	大学院 学生	学部学生	準学内者	卒業生	登録市民	その他	合 計
経営学研究科・商学部	0	-	1	19	-	-	-	-	20
経済学研究科・経済学部	0	-	0	0	-	-	-	-	0
法学研究科・法学部	0	-	0	6	-	-	-	-	6
文学研究科・文学部	0	-	17	107	-	-	-	-	124
理学研究科・理学部	0	-	0	8	-	-	-	-	8
工学研究科・工学部	0	-	6	23	-	-	-	-	29
医学研究科・医学部医学科	0	-	0	2	-	-	-	-	2
生活科学研究科・生活科学部	0	-	0	17	-	-	-	-	17
都市経営研究科・創造都市研究科	0	-	3	-	-	-	-	-	3
看護学研究科・医学部看護学科	0	-	0	1	-	-	-	-	1
そ の 他	0	19	0	0	43	0	242	14	318
合 計	0	19	27	183	43	0	242	14	528

注) 卒業生はマイクロ資料のみ利用可能。

(b) 分 館

利用者区分 学部区分	教員	職員	大学院 学生	学部学生	準学内者	卒業生	登録市民	その他	合 計
医学研究科・医学部医学科	12	-	5	4	-	-	-	-	21
看護学研究科・医学部看護学科	47	-	4	25	-	-	-	-	76
そ の 他	0	7	0	0	58	39	14	1	119
合 計	59	7	9	29	58	39	14	1	216

(3) レファレンスサービス利用状況

① 参考調査件数

	所蔵調査	事項調査	利用指導等	その他	合 計
本 館	1,435	196	284	25	1,940
分 館	710	7	642	652	2,011
合 計	2,145	203	926	677	3,951

② 図書館間相互利用件数

*学内キャンパス間は配送予約で図書現物の取寄せを実施

(a) 依頼

		文献複写	現物貸借	訪問利用	参考調査	合 計
本 館	学 外	1,399	415	87	0	1,901
	学内他キャンパス	104				104
分 館	学 外	824	20	0	0	844
	学内他キャンパス	15		-	-	15
合 計		2,342	435	87	0	2,864

(b) 受付

		文献複写	現物貸借	訪問利用	参考調査	合 計
本 館	学 外	1,669	1,115	94	51	2,929
	学内他キャンパス	78				78
分 館	学 外	2,037	58	72	19	2,186
	学内他キャンパス	104		-	-	104
合 計		3,888	1,173	166	70	5,297

③ 文献複写利用状況

(単位：枚)

	電子式複写	マイクロ複写	合 計
本 館	200,354	129	200,483
分 館	72,596	0	72,596
合 計	272,950	129	273,079

(4) 相互連携

大阪府立大学学術情報センターとは平成19年10月、また関西大学図書館とは平成21年9月より包括協定を結び、相互協力事業を行っている。

これにより本学の学生、教職員は学生証・職員証を提示することで、協定館の利用者カードの交付・貸出サービス等を受けることができる。また大阪府立大学・関西大学の構成員もセンターの利用が可能となっている。

一方、大阪市立図書館とも平成20年4月より相互協力事業を開始し、市立図書館の搬送車による図書の相互貸借・文献複写などを行うことにより、市民サービスの一環を担うと共に、本学構成員の多様な資料へのアクセスについて利便性を図っている。

(1) 三大学連携

大阪府立大学および関西大学の学生・教職員のセンター利用

	登録者数	入館者数(非登録)	貸出冊数
大阪府立大学	75	97 (9)	213
関西大学	17	22 (0)	114

※入館者数（非登録）は、利用者カードによらず身分証提示により入館した利用者数

※（ ）内は医学分館の内数

(2) 大阪市立図書館との相互協力

	図書貸借	文献複写
市立図書館から受付	85 (20)	10 (7)
市立図書館へ依頼	66 (6)	0 (0)

※（ ）内は医学分館の内数

(5) 公開データベース利用状況

① 概要

	収録数	アクセス数
(a) 機関リポジトリ	19,253	1,263,720
(b) 古文書データベース	10,927	3,983
(c) 文庫データベース	4,743	2,191

平成29年度の新システムより、Google, Yahoo などクローラとみられるアクセス数は除外。

② データベース内容

(a) 機関リポジトリ

大阪市立大学発の知的生産物（紀要論文、学術雑誌論文、博士学位論文等）を収集、蓄積し、インターネット公開する電子アーカイブシステム

紀要論文と博士学位論文については、国際IDであるDOI(Digital Object Identifier)も登録し、公開

1996年以降刊行の紀要論文、2013年度以降に修了の博士学位論文本文または要約を公開

資料種別	収録数
紀要論文	12,523
学位論文	934
学位論文要旨・審査結果	3,369
学術雑誌論文	618
一般雑誌記事	400
修士論文（梗概）	340
教材	337
プレプリント	176
図書・図書の章	165
その他	391
合計	19,253

(b) 古文書データベース

近世大坂三郷及び近郊の古文書、日本経済史資料などの近世資料を、画像でデジタル化したもの。収録数は10,927件。

情報検索の国際通信規約”Z39.50”に準拠した情報検索システムで横断検索が行える。

(c) 文庫データベース

ア) 森文庫 和古書データベース

近畿関係の宗教、歴史、思想史関係の75冊を全文カラー画像化したものと、近世の図書約2,260冊を、マイクロフィルムからグレースケールでデジタル化したもの

イ) ゾンバルト文庫 画像データベース

ゾンバルト文庫の中から代表的な約550冊を画像化したもの

ウ) 福田文庫 貴重書画像データベース

福田文庫の中から、1899年以前の貴重書（洋書）約450冊をグレースケール画像でデジタル化したもの

エ) ローゼンベルク文庫 画像データベース

ローゼンベルク文庫の中から代表的な約1400冊を画像化したもの

③ オンライン出版サポートサービス

機関リポジトリのインターネット配信・公開機能を活用し、学内部局が発行する学術雑誌（紀要雑誌等）を主な対象に、部局によりオンライン出版実現のサポートを2018年10月開始

経済学雑誌	2018年12月出版
大阪市立大学看護学雑誌	2019年2月出版
大阪市立大学 健康・スポーツ科学	2019年3月出版
人権問題研究	2019年6月出版
都市防災研究論文集	2020年2月出版

(6) 電子リソース利用状況

令和元年度事業年報

① データベース利用状況

データベース名	提供対象	ログイン数
CINAHL	全 学	568
Econlit	全 学	664
EBM Reviews	阿倍野	682
MEDLINE	阿倍野	1,858
SciFinder(Academic)	全 学	13,035
UpToDate Anywhere	阿倍野	11,207
Web of Science	全 学	20,114
D-1 Law	全 学	1,365
eol	全 学	1,838
Japan Knowledge	全 学	4,293
Lex/DB	全 学	1,953
医中誌Web	全 学	32,472
最新看護索引WEB	阿倍野	1,039
新聞D B (朝日・日経・毎日・読売)	全 学	13,744
合計		104,832

※UpToDate Anywhereの数値はトピック閲覧件数

EBM Reviews、MEDLINEの数値は検索数

② 電子ジャーナル利用状況

パッケージ等	提供対象	タイトル数	利用件数
ACS	全 学	11	58,264
APS	全 学	11	7,822
EBSCOhost (BusinessSourceComplete + EconLit)	全 学	4,360	3,035
LWW	全 学	68	13,511
Nature	全 学	16	53,247
New England Journal of Medicine	阿倍野	1	7,381
Oxford Univ Press	阿倍野	173	8,693
Sage	全 学	19	2,718
Science	全 学	1	9,742
Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America	全 学	1	8,838
ScienceDirect	全 学	104	77,760
SpringerLink	全 学	1,600	41,976
Taylor & Francis	全 学	33	4,271
Wiley-Blackwell	全 学	1,400	79,141
CiNii	全 学	-	1,853
J-STAGE	全 学	-	14,715
日経BP	全 学	58	11,867
メディカル・オンライン	阿倍野	1,334	35,655
上記以外の出版社・パッケージ・プラットフォーム	全 学	1,307	45,847
合計		10,497	486,336

※利用件数はフルテキストのダウンロード数

※EBSCOhostはJUSTICE調査に合わせ電子ジャーナル以外のレポート類を除外したためタイトル数大幅減

③ 電子ブック利用状況

出版社・パッケージ名		提供対象	タイトル数	利用件数
主な電子ブック	Cambridge Univ. Press	全学	298	169
	EBSCO ebook collection(Net Library)	全学	449	79
	LWW	全学	334	75
	Springer Link	全学	10,779	1,308
その他		全学	3,674	3,379
合計			15,534	5,010

※利用件数はフルテキストのダウンロード数

※利用件数は電子リソースの利用統計規格がCounter 4からCounter 5へ変更されたことにより、一部前年と大きく数値が異なっているものがある

④ 電子ジャーナル・データベース導入の歴史

西暦	元号	事項
2000	平成12	EBSCO Business Source Premier (-2013)
2002	平成14	Elsevier Science Direct Freedom Collection (-2003)
2003	平成15	Springer Link (-2004) Web of Knowledge
2004	平成16	Elsevier Science Direct 購読誌契約に切り替える EconLit with Full Text PsycINFO (-2014) SciFinder
2005	平成17	Nature Package (本誌 + Life Science誌) (-2013)
2010	平成22	ProQuest Central (-2012) Springer Link (再契約) Wiley Online Library Full Collection
2011	平成23	ABELL:Annual Bibliography of English Language & Literature (-2018)
2014	平成26	EBSCO Business Source Complete Nature Package (本誌 + Life Science誌 + Physical Science誌)
2016	平成28	Elsevier Science Direct にプリペイド方式トランザクションを導入

・全学で使用する電子ジャーナルパッケージ、データベースを抽出

・有料契約時、WEBによる全学利用が可能になった時期を記している
(固定端末の利用時は除く)

情 報 処 理 部 門

10. 情報処理部門

教育研究用情報処理システム

① 経緯

学術情報総合センター（以下、「当センター」という。）は、平成8年の開設当時から、研究者の研究を支援するシステム（以下、「研究支援システム」という。）と、学生の情報教育を支援するシステム（以下、「情報教育支援システム」という。）を提供しており、それらを統括的に研究教育用情報処理システムとして整備してきた。

研究教育用情報処理システムは、平成14年度に旧システムより更新し、さらに平成19年度に研究支援システムおよび情報教育支援システムの自学自習環境にあたる部分のみ機器更新を行った。

また、平成20年10月、平成19年度にシステム更新が見送られた情報教育支援システムは、全学共通教育棟で行われている一般情報処理教育と専門情報処理教育を含めた形で、システム更新を行った。

以上の経緯から、研究教育用情報処理システム導入当初は1本のシステムとして稼動していたものが、2度の機器更新を経て、業者や導入時期が別々の2本のシステムに分かれたため、機器保守や運用面で不都合が存在することとなった。

平成26年10月、機器の老朽化と運用上の不都合を改善するため、研究教育用情報処理システムは、「教育研究用情報処理システム」と名称を新たにし、研究支援システムと情報教育支援システムを1本化したシステムとして整備された。

また、令和元年10月のシステム更新に伴い、大学キャンパス内に分散していた教育系システムのうち「外国語特別演習室」及び「図形科学演習室」のシステムを教育研究用情報処理システムに統合し、TCO（総保有コスト）削減を進めるとともに、一般情報処理教育と専門情報処理教育における種々の要請に対応するシステムとなった。

② 概要

教育研究用情報処理システム（以下、「情報処理システム」という。）は、先導的な研究の遂行や高度な専門性を有する人材の育成支援を図るために学術情報総合センター内に関連システムが設置されている。情報処理システムの目的は以下の通りである。

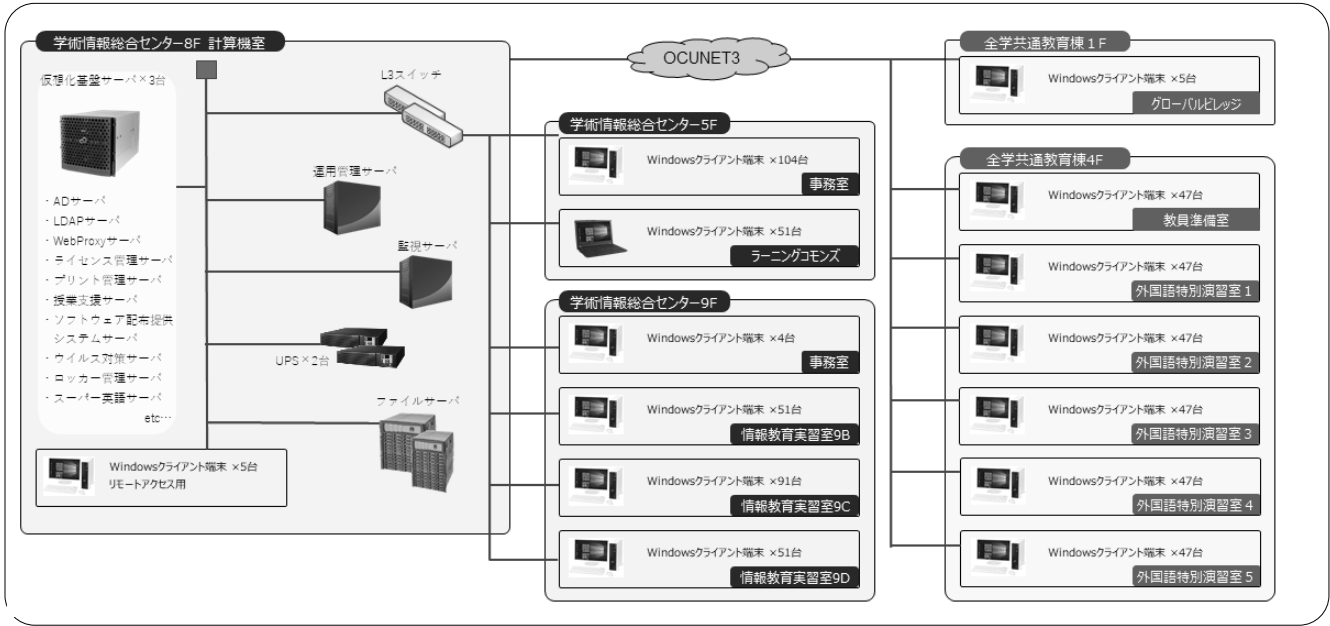
- (1) 計算資源やネットワークサービスを研究者に提供することで、研究の支援となるシステムであること
- (2) 一般情報教育を支援するシステムであること
- (3) 各研究科独自の専門情報教育を支援するシステムであること
- (4) 各研究科をまたがる専門情報教育を支援するシステムであること
- (5) 学部学生等に対して、自学自習環境を提供するシステムであること

③ システムの特徴

情報処理システムのハードウェアは ESPRIMO (Inter Core i5)、メモリ容量を 16GB (学術情報総合センター端末)・8GB (全学共通教育棟端末) とし、搭載 OS は Windows10 Enterprise LTSC 2019(64bit)である。また、VirtualBOX を導入し、Windows 上で CentOS 7.6 を実行している。複数の OS 環境を提供することで、学生の学習意欲を高めることを目的としている。

研究支援システムとしては、アプリケーション貸出サービスの提供、アプリケーション利用にかかる講習会などを展開する。

④ システム構成図



⑤ 提供サービス一覧

分類	システム名
情報教育支援システム	授業支援システム「Calabo」
	教材提示システム
	出席管理システム「Analyst」
研究支援システム	アプリケーション貸出サービス

⑥ ハードウェア概要

機 種	 ESPRIMO D588/V (国際エネルギースタートプログラム対応モデル)  LIFEBOOK P728/S
設 置 場 所	[デスクトップ端末] 情報処理教育 PC ルーム (学術情報総合センター5 階) 104 台 情報教育実習室 5A/9B/9C/9D (学術情報総合センター9 階) 244 台 情報推進課事務室 (学術情報総合センター9 階) 4 台 リモートアクセス用端末 (学術情報総合センター8 階) 5 台 教員準備室 (全学共通教育棟 4 階) 1 台 グローバルビレッジ (全学共通教育棟 1 階) 5 台 外国語特別演習室 1～5 (全学共通教育棟 4 階) 235 台 [タブレット端末] ラーニングコモンズ (学術情報総合センター5 階) 20 台
C P U 物 理 メ モ リ ハードディスク容量	[デスクトップ端末] インテル® Core™ i5-8500 プロセッサ 16GB (8GB x 2) DDR4 SDRAM DIMM ECC なしメモリ 358 台 8GB (4GB x 2) DDR4 SDRAM DIMM ECC なしメモリ 240 台 SSD 256GB [タブレット端末] インテル® Core™ i5-8350U プロセッサ 8GB (4GB x 2) DDR4 SDRAM SSD 256GB
周 辺 機 器	[デスクトップ端末] USB マウス (光学式) OADG キーボード (109A キー/USB) HD Webcam グレー&ブラック C270 ウェブカメラ 47 台
O S	Windows10 Enterprise LTSC 2019 (64bit) CentOS 7.6.1810 (64bit) (Virtual Box、仮想 OS として動作)
起 動 方 式	ネットブート方式

⑦ 研究システム利用登録者数

	経営学研究科	経済学研究科	法学研究科	文学研究科	理学研究科	工学研究科	医学研究科	生活科学研究科	都市経営研究科	看護学研究科	その他	合 計	平成 30 年度合計 (参考)
教 員	1	5	1	1	36	35	10	12	0	0	3	104	91
職 員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5	2
大学院生	0	0	0	0	20	19	3	4	1	3	0	50	49
その他	0	2	0	0	1	0	1	0	0	1	0	5	5
合 計	1	7	1	1	57	54	14	16	1	4	8	164	147

注)その他:複合先端研究機構、都市健康・スポーツ研究センター、教育推進課、研究支援課、学術情報課

⑧ 学術認証フェデレーション連携サービス利用者数

※4月～8月については、利用者数を取得することができませんでした。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数(合計)	—	—	—	—	—	104	590	562	538	592	408	430	3,224

⑨ 情報教育PCルーム利用者数

※8月：教育研究用情報処理システム更新に伴う機器入替のため、開室日数減。

代替として情報教育実習室1を自習室として開放（開室日数：9日、利用者数集計データなし）。

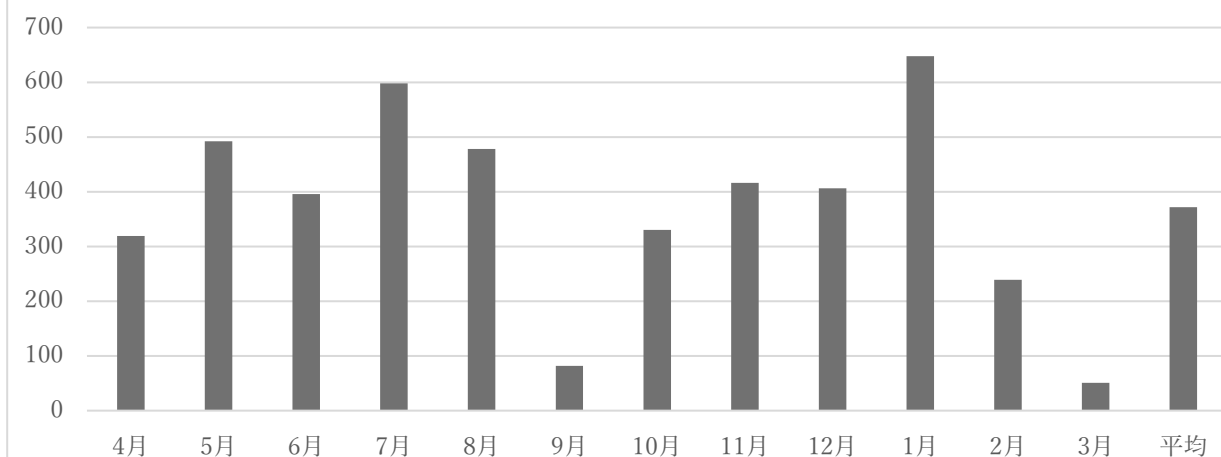
9月：教育研究用情報処理システム更新に伴う機器入替のため、開室日数減。

代替として開放した情報教育実習室1の開室日数、利用者数を記載。

3月：新型コロナウイルス感染防止対策に伴う学術情報総合センター閉館のため、開室日数減。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	平成30年度平均 (参考)
開室日数(日)	27	25	30	30	11	9	26	25	25	23	24	1	22	26
1日平均利用者数	319	492	396	598	478	82	330	416	406	648	239	51	372	324

情報教育PCルーム利用者数



⑩ 第2PCルーム・持込PCルーム利用者数

※9月：教育研究用情報処理システム更新に伴う機器入替のため、開室日数減。

3月：新型コロナウイルス感染防止対策に伴う学術情報総合センター閉館のため、開室日数減。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	平成30年度平均 (参考)
開室日数(日)	27	25	30	30	20	17	26	25	25	23	24	1	23	26
1日平均利用者数	8	17	18	46	30	0	3	5	3	10	8	0	12	21

教 育 · 研 究 部 門

1 1. 教育研究部門

(1) 教員組織

専任教員は平成 30 年 4 月に大学院工学研究科に配置換えとなったが、兼務として学術情報総合センター教員会議にも所属しており、全学共通教育科目の情報基礎等の講義を担当し、学情情報総合センターでの業務を行っている。平成 26 年 10 月に情報基盤センターが設置されたことに伴い、関係する教員は情報基盤センターについても兼務することとなり、全学ネットワーク等に関する業務は情報基盤センターにおいて行っている。

令和元年 10 月 1 日

部門等の区分	教 授	准教授	講 師	助 教	計
図書館情報学	1	1	0	0	2
ネットワーク	0	2	0	0	2
コンピューティング システム	2	0	0	0	2
データベースを含む メディアシステム	1	1	0	0	2
計	4	4	0	0	8

(2) 教育

2-① 教員の授業担当時間数

職 名 区 分	教 授	准教授	講 師	助 教
最 高	10	14	0	0
最 低	7	9	0	0
平 均	8	8	0	0

2－② 他大学等への出講数

数 \ 職 名	教 授 准教授
人員（延数）	0
コマ（延数）	0

2－③ 情報処理教育

平成 8 年 10 月の当センター開設時から平成 14 年度末まで、センター9 階に設置された情報処理演習室等において一般情報処理教育の授業を行ってきたが、平成 15 年度から平成 20 年 9 月までは、新しく設置された全学共通教育棟の情報処理教室において授業を開講していた。平成 20 年 10 月より、システムの更新に伴って、再びセンター9 階に設置された情報処理演習室等（平成 28 年 4 月より情報教育実習室）において全学共通教育科目の授業を開講している。また、令和元年 10 月より教育・研究用システムの OS を、これまで利用していた Mac OS X から Windows10 に更新した。授業は引き続き学術情報総合センターの教員が中心となって担当している。

センター5 階に設置された PC ルーム（旧情報処理教育実験室）は、本来の実験室的な機能に加えて、自主的な学習・研究の場として、学生に開放している。

（3）研 究

3－① 著書・論文・学会発表等の冊数、点数、件数

区分 \ 年度	著書	論文	学会発表	論文翻訳	科研費	その他の 外部資金	その他	公務の応職 ・ 兼職
令和元年度	1	11	24	0	7	4	16	7

注) 1 著書の項は、共著、編纂、監修等を含む冊数

2 論文の項は、学術論文（原則としてフルペーパーで審査付きのもの）の公表数

3 学会発表の項は、国際会議及び国内学会での論文発表及び口頭発表の件数

4 科研費の項は、当該年度で受けた科研費（分担研究も含む）による研究の件数

5 その他の外部資金の項は、当該年度で受けた外部資金による研究（科研費を除く）

6 その他の項は、教科書、注釈、研究ノート、書評、学界展望、研究案内、研究資料紹介、マスコミ寄稿、（活字として公表された）講習会、研究会、座談会等の参加件数を含む。

7 公務の応職・兼職の項は、公的な各種委員会等への参加の件数

3－② 在外研究・国内研究の状況

名称等 年度	在 外 研 究 員						その他 海外出張 海外渡航	国内研究
	本 学				文部科学省			
	A	B	C	D	長期	短期		
令和元年度	0	0	0	0	0	0	6	3

3－③ その他

空間情報に関連する、以下のとおりの国際活動を行った。

令和2年1月10日から1月11日まで、インド情報技術大学(インド)にて「Open Source Web-GIS Platforms」国際ワークショップ(参加者約80名)を開催した。

(4) センター業務

- (1) 学術情報基盤整備に関する企画立案及び実施
- (2) 教育研究用情報システムの設計・構築と運用管理
- (3) 教育研究に資するデータベースの設計・構築と運用管理

センターの組織

12. センターの組織

(1) 管理機構図

(審議機関)

学術情報総合センター運営委員会

- ・運営上の重要事項を審議
- ・構成（17名）

センター所長
センター副所長
医学分館長
各研究科教授会等から選出された委員

※医学分館に、分館の重要事項を審議するため医学分館運営委員会を設置

教育研究用情報処理システム実務者会議

- ・教育研究用情報処理システムの運用管理を審議
- ・構成（全体会15名 常任会11名）

センター所長
センター副所長
学術情報総合センター教員会議の教員
情報推進課・学術情報課の職員
(全体会のみ) 文系・理系選出教員4名

(執行機関)

所長 — 副所長
 — 医学分館長

※学術情報総合センター運営課の事務組織は（3）事務組織の項に記載している。

(教員組織)

センターには、兼任の教員組織が置かれ、教授会に相当する学術情報総合センター教員会議を設置し、教員組織に関わる重要事項の審議を行っている。

(2) 運営委員会委員

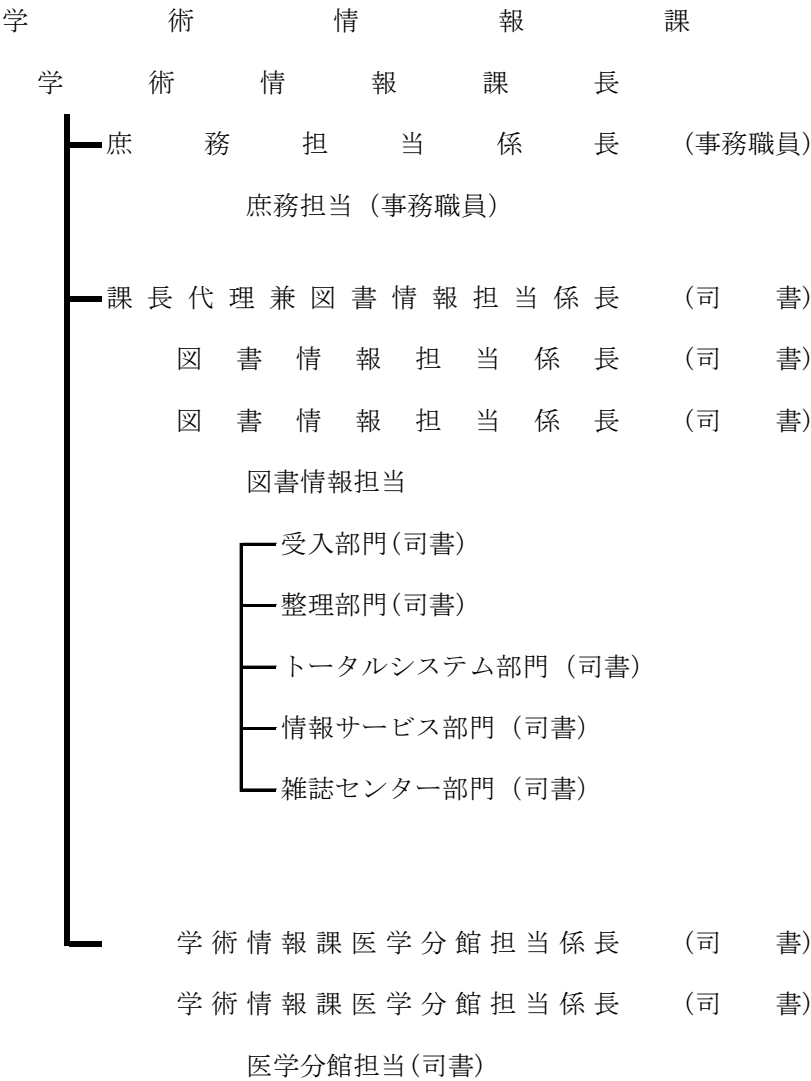
所 長	山崎 孝史
副 所 長	村上 晴美
医学分館長	中島 裕司

所 属	氏 名
経営学研究科	神野 光指郎
経済学研究科	若森 みどり
法学研究科	国友 明彦
文学研究科	堀 まどか
理学研究科	古澤 昌秋
工学研究科	寺井 章
医学研究科	新谷 歩
看護学研究科	岡本 双美子
生活科学研究科	小島 明子
都市経営研究科	高野 恵亮
都市健康・スポーツ 研究センター	今井 大喜
学術情報総合センター	永田 好克
大学史資料室	桐山 孝信
大学教育研究センター	飯吉 弘子

平成 30 年度に、運営委員会規程第 2 条第 6 項により、大学教育研究センターからの委員選出があった。

(3) 事務組織

(令和2年4月1日現在)



(注1) 上記職員の他、大阪市立大学が雇用する特定職員、特定有期雇用職員及び短時間勤務職員が業務執行にあたっている。

13. 施設概要

(a) 本館

・ 建築概要

構造	鉄構造・鉄骨鉄筋コンクリート・ 鉄筋コンクリート造
建築規模	地下4階・地上10階（一部11階）・ 塔屋2階
面積	建築面積： 2,864.97㎡ 延床面積： 37,434.00㎡

・ 施設概要

階数	施設名	面積(㎡)	席数	収容可能 冊数(万冊)	階数	施設名	面積(㎡)	席数	収容可能 冊数(万冊)
10階	フロア面積/席数/冊数	2,509	406		3階	フロア面積/席数/冊数	2,666	399	12
	研究室	344				閲覧室	1,952	383	12
	会議室(3室)	548	276			グループ学習室	41	16	
	研究者交流室	256	72		2階	フロア面積/席数/冊数	2,422	148	5.1
	特別会議室等(5室)	233	58			参考図書コーナー	528	89	2.5
9階	フロア面積/席数/冊数	2,648	274			閲覧席	139	12	2
	グループ研究室(2室)	86	24			点字図書室	69	8	0.6
	情報教育実習室(3室)	678	190			ブラウジングコーナー	186	23	
	持込PCルーム		36			ミニ学習室	20	6	
	会議室	116	24			訪問者閲覧席		10	
	事務室等	483				事務室等	189		
8階	フロア面積/席数/冊数	2,689		27	1階	フロア面積/席数/冊数	2,758	144	
	貴重書庫	185		2		自由学習コーナー	171	60	
	書庫(新聞保管庫等)	955		25		ツクルマ	171		
	計算機室	503				展示コーナー	92		
7階	フロア面積/席数/冊数	2,719	101	29		文化交流室	195	84	
	利用書庫	1,339	50	19		カフェテリア	267		
	文庫書庫	512	8	10	B1階	フロア面積/席数/冊数	2,913	141	7
	研究者閲覧室	199	31			雑誌閲覧室	566	84	
	サイレントエリア	40	12			雑誌利用書庫	899	15	7
6階	フロア面積	2,719	130			ロビー		34	
	アカデミックcommons	387	130			サイレントエリア	36	8	
	事務室等	1,093				事務室等	289		
5階	フロア面積/席数/冊数	2,719	454	0.1	B2階	フロア面積/席数/冊数	2,885	49	57
	ラーニングcommons	553	195			書庫	1,902	28	57
	グループ学習室(4室)	92	32			研究者閲覧室	42	14	
	グループ視聴室(2室)	34	8			閲覧個室(7室)	72	7	
	AV資料視聴ルーム	30	5		B3階	フロア面積	2,858	50	87
	語学学習ルーム	40	8			書庫	1,919	29	87
	AVホール	146	54			研究者閲覧室	42	14	
	資料展示/英語学習コーナー		12	0.1		閲覧個室(7室)	72	7	
	保管庫	152			B4階	フロア面積	2,315	—	—
	情報教育PCルーム	240	100			機械室・電気室		—	—
	情報教育実習室	159	40		P1・2階		376	—	—
	制作・機材室	76							
	事務室等	156							
4階	フロア面積/席数/冊数	2,238	215	10	合 計		37,434	2,296	224.2
	閲覧室	1,522	199	10					
	グループ学習室	43	16						

※平成28年4月に経済研究所文庫が移管されたため、経済研究所棟書庫（地上3階、面積515㎡、収容可能冊数11万冊）も管理している。

(b) 分館

・施設概要

階数	施設名	面積(㎡)	席数	収容可能冊数(万)
あべのメディックス9階		1,560	188	5
	南閲覧コーナー(単行書)	397	50	
	北閲覧コーナー(単行書・雑誌)	730	82	
	インターネット・情報検索コーナー	175	41	
	複写コーナー	22		
	閲覧・研究個室(13室)	54	13	
	PCブース	18	2	
	事務室等	164		
あべのメディックス8階		1,043	155	6
	i-コモ(ラーニング・コモンズ)	308	84	
	リラックスコーナー	23	12	
	AVブース	13	4	
	グループ視聴室(自由閲覧室)	47	16	
	グループ学習室(3室)	80	20	
	利用書庫(PCブース含む)	514	19	
	事務室等	59		
あべのメディックス7階		46		
	分館長室	46		
あべのメディックス 合計		2,649	343	11
医学分館棟2階		138	0	
	事務室等	79		
医学分館棟3階		588	0	
	1層: 書庫(洋雑誌)	272		
	2層: 書庫(和雑誌・図書)	272		
医学分館棟4階		316	44	
	閲覧室(書庫)	93		
	研修室	110		
	書庫	52		
医学分館棟 合計		1,042	44	10
合 計		3,691	387	21

参 考 資 料

2020 年 3 月

学術情報総合センター 2019 年度教員アンケート調査の集計結果

概要

昨年度、学生の学術情報総合センター（以下学情センター）の利用減少の原因を探るため、学部学生・大学院学生を対象としたアンケートを行った。しかし、利用が大きく落ち込む原因の特定には至らなかった。今回のアンケートは、教員を対象に、学部学生の学習行動に関する質問を中心として行い、利用減少の原因をさらに探るとともに、今後の学術情報総合センターのあり方を検討する判断材料とする目的で実施した。

期間：2019 年 9 月 19 日～11 月 15 日

対象：本学に所属する教員（医学研究科、看護学研究科除く）

方法：Web アンケートフォーム（全学ポータル）

回答数：77

本アンケートの設問内容は大きく以下の 5 つに分けられる。即ち、(1) 回答者属性、(2) 学部学生の図書の貸出数減少について、(3) 授業やゼミでの図書館の利用について、(4) 学情センターの資料、推薦図書制度、講習会について、(5) 今後重要になると思われる図書館サービスについて、の 5 つである。

(1) 回答者属性

回答数は 77 件であった。この数は、全専任教員数の 11%である。

文系研究科の回答率が高く、文学研究科が、回答数、回答率ともに最も高かった。

(2) 学部学生の図書の貸出減少について

図書の貸出利用減少の理由として、Web 情報による影響をあげる教員が、回答数の 87%であった。

また、多くの教員が貸出減少の現状に問題があると考えている（「大いに問題である」「やや問題である」が回答者の 92%）。対処法として、「卒業研究・授業で図書の利用を促す指導」、「Web で得た情報の出典の確認を促す指導」等、教員側からの働きかけに関する意見が多く見られた。

(3) 授業やゼミでの図書館の利用について

学部学生の情報収集に関して、図書や雑誌論文の探し方について説明・指導を行っている

という回答が多かった。一方で、文献リスト、文献そのものを配布しているという回答も一定数あった。授業やゼミでの学情センターの利用については、半数以上が「使わない」という回答であったが、文献の探し方指導等を行っている教員は多く、図書館としてできることを周知し、教育支援の中で図書館に求められている役割の拡大を探っていく必要がある。

(4) 学情センターの資料、推薦制度、講習会について

学部学生に必要な資料が学情センターにあるかという質問に対し、回答者の 80%から「まあ十分」以上の回答が得られた。不足している資料としては、最新版の図書、教科書の複本、新書などがあげられた。

学生用推薦図書については、「使っていない」という回答が半数以上であった。その理由としては「必要な資料は学情センターにある」が最も多かったが、「手続きが分かりにくい」等の回答も多く、この点について改善が必要である。(3) で授業内で文献リストを配布していると回答した教員が一定数いたが、学情センターではその情報を把握できていない。こういった情報を入手し、選書に反映していく必要がある。

図書館への講習会の要望については、「文献の探し方(OPAC など)」や「引用や著作権について」という回答が多かった。「必要ない」という回答は 1 件のみであったことから、学部学生を対象とした講習会への需要はあると考えられる。

(5) 今後重要になると思われる図書館サービスについて

2018 年度アンケート（学部学生・大学院学生対象）で、充実してほしい項目の上位であった「インターネット環境」、「環境の快適さ」、「紙の資料」以外の図書館サービスを挙げ、今後学修支援において重要になるものを質問した結果、上位 5 つは、情報資源の提供(電子資料、e ラーニングコンテンツ、映像資料)、空間としての図書館の利用(グループ学習のための施設、自習スペース)に関するものであった。

集計結果と分析

1. 回答者属性

Q1. 利用者区分

	回答数
本務教員	74
特任教員	2
非常勤講師	1
総計	77

Q2. 所属

	回答数	教員数	回答割合
経営学研究科	2	32	6%
経済学研究科	6	30	20%
法学研究科	10	33	30%
文学研究科	24	63	38%
理学研究科	10	111	9%
工学研究科	12	106	11%
生活科学研究科	3	45	7%
その他	10	313	
総計	77	733	11%

回答者が最も多い利用者区分は、本務教員で 74 件であった。

最も多い所属は文学研究科（24 件）であり、工学研究科（12 件）、法学研究科（10 件）、理学研究科（10 件）と続く。

各研究科の専任教員数¹（2019 年 5 月 1 日時点）を参考として各研究科でのアンケートへの回答割合を見ると、文学研究科で 38%と高く、ついで法学研究科（30%）、経済学研究科（20%）となっており、本アンケートについて文系の研究科での関心が高いことがわかる。

¹ 大阪市立大学企画総務課（2019）『大阪市立大学事業概要 平成 31・令和元年度』, p.13.

2. 学部学生による貸出利用減少について

学情センターではアンケートの項目を設定するにあたり、図書の貸出利用が減少している理由はある程度推測がつくものの、学部学生を指導している教員との間で認識のずれがないかを確認したいと考えた。また、図書をじっくりと通読するという学習スタイルはもはや不要と考える傾向があるのかを知りたいとも考え、Q3 から 6 を設問した。

Q3. 近年、学部学生の図書の貸出が減少しています。理由として最もあてはまると考えられるものを一つお選びください。

	経営	経済	法	文	理	工	生科	他	総計
Web 情報だけで間に合わせる学生が増えた		2	7	14	8	8	3	8	50
Web から入手可能な学術情報が増えた		4	1	8	2	2			17
学生の自習時間が減った	2		2			1			5
学情センターから借りる以外の方法で図書を入手している								1	1
学情センターに必要な図書がない						1			1
図書を利用する課題が減った								1	1
その他				2					2
総計	2	6	10	24	10	12	3	10	77

学部学生による貸出利用減少の原因について、「Web 情報だけで間に合わせる学生が増えた」が最も多く、次に多いのは「Web から入手可能な学術情報が増えた」であった。Web による影響を上げる教員が全体の 87%を占めており、Web の利便性の高さやアクセスのしやすさによる影響と考えている回答者が多いことがわかる。

ただし、「Web から入手可能な学術情報が増えた」よりも「Web 情報だけで間に合わせる学生が増えた」が多いことから、学生には Web 情報だけでなく、そのほかの情報も利用させる必要があると考えている教員が多いことがわかる。後述の付録 A の中では学生による Web 情報利用の問題点として、信頼性が保証されていない点、出典を確認せずに使われて

しまう点、容易に入手できる Web 情報だけで情報探索をすませてしまう点、などが挙げられている。現代社会において Web 情報の活用能力は必須であるが、それを正しく活用するためのリテラシー能力も同時に身につけなければならない。図書館側からも図書館ガイダンス等を通して、信頼性の保証された Web 情報の検索方法や参考文献の引用方法、Web 情報とともに図書館の資料を利用することの利点を伝えていくことで、学生の情報リテラシー能力の向上に貢献できる部分があると考えられる。

「その他」を選んだ回答者の Q4 での具体的な記述を見ると、「Web やネットが幼い時から身近であった学生が増え、また各情報に対して深く継続的な問題意識を持たなくなっている傾向が高まったため。」「図書を利用する課題が減った+学生の自習時間が減った（一つに絞ってはいけないと思います）」という意見があった。

Q5. 学部学生の図書の貸出が減少していることをどう思われますか？

	経営	経済	法	文	理	工	生科	他	総計
大いに問題である	2	2	7	11	3	6	1	3	35
やや問題である		2	3	13	5	6	2	5	36
あまり問題ない		2			2			2	6
全く問題ない									0
総計	2	6	10	24	10	12	3	10	77

学部学生の貸出利用が減少している現状について問題があるか否かについて質問したところ、回答者のうちの 92%が貸出利用の減少を問題であると回答し（「大いに問題である」35 件、「やや問題である」36 件）、「全く問題ない」は 0 件であった。

加えて Q6 として、「全く問題ない」「あまり問題ない」と回答した場合はその理由について、「やや問題である」「大いに問題である」と回答した場合はその対処法について質問した。その結果は以下のとおりである（詳細については付録 A）。

「あまり問題ない」と回答した回答者からは、良質な情報を Web で検索できるようになったから（2 件）、時代の流れであるから（2 件）、図書を館内利用している学生もいるから（1 件）という回答が得られた。

「やや問題である」「大いに問題である」と回答した回答者からは、以下のような意見が得られた。まず、貸出利用減少への対処法として、(a) 卒業研究・授業で図書の利用を促す指導を行う（30 件）、(b) Web で得た情報の出典を確認させるように促す指導を行う（8 件）、(c) 図書館が時代の変化に対応する必要がある（2 件）、(d) 図書館の蔵書を充実させる（2 件）、という 4 つの意見が得られた。(a)、(b) のような、教員側の指導によって図書の利用

を促すという意見が多く見られた。また、必ずしも図書を使わないことが問題ではないとしながらも、全ての情報が Web で得られるわけではなく、図書を含めた多様な情報源や資料にアクセスできるよう指導する必要があると考えている意見（11 件）もあった。

その他に貸出利用減少の要因として、スマホのカメラでの撮影による図書の利用や教員による授業資料の配布が行われていること、図書の一部分だけを利用する学生が増加、ネット経由での教科書の古本での購入の増加などを挙げる意見があった。

3. 授業やゼミでの図書館の利用について

Q7. 学部学生への授業やゼミの中で、資料・情報収集についてどのように指導・指示されていますか？(複数回答可)

	回答数
図書や雑誌論文の探し方について説明している	46
図書や雑誌論文等を使うよう指導している	45
文献リストを配布している	37
必要な文献・資料は配布している	28
オープンアクセスの文献を入手できるようリポジトリや CiNii を紹介している	27
特定の Web サイト(学会 HP 等)をチェックするよう指示している	2
特に指導・指示していない	2
指導の機会がない(授業・ゼミを担当していない等)	0
その他	2

学部学生への情報収集に関する指導方法について質問した結果、「図書や雑誌論文の探し方について説明している」が最も多く、次に僅差で「図書や雑誌論文等を使うように指導している」であった。また、「オープンアクセスの文献を入手できるようリポジトリや CiNii を紹介している」という文献の探し方について細かく指定した選択肢に対しても回答が 27 件あった。文献の探し方の指導を行う教員や、学生に文献を使うように指導する教員が多いことがうかがえる。

一方で、「文献リストを配布している」(37 件)、「必要な文献・資料は配布している」(28 件)のように、文献の探し方については授業やゼミでは扱わず、使う文献を指定・配布している教員も一定数いることがわかった。効率的な授業運営を考えれば当然であり、そこに授業支援の形で学情センターが介在する余地があるかを探っていく必要がある。

また、「Q8. Q7 について、具体的な内容を可能な範囲でご記入ください。」の結果は付録 B に収載している。

Q9. 学部学生への授業やゼミで学情センターを利用されますか？利用される場合は、場所や使い方をお答えください。(複数回答可)

	回答数
使わない	48
学情センターに講習会を依頼する	13
教室（9F 情報教育実習室、6F セミナールーム）	12
館内を案内する	7
情報検索端末(2F)や OPAC 端末で検索指導を行う	6
ラーニングコモンズ(5F)	4
館内で資料を使って授業やゼミを行う	3
アカデミックコモンズ（6F）	2
ツクルマ(1F)	2
その他	4

授業等での学情センターの利用方法について質問をした結果、最も多かった回答は「使わない」（48 件）であった。「使わない」を除いて、最も多い利用方法は「学情センターに講習会を依頼する」（13 件）であり、次に多いのは「教室」（12 件）で授業教室としての利用であった。

「使わない」という回答が半数以上であったが、Q7 では図書や雑誌論文の探し方について指導したり、文献リストの配布を行ったりしている教員が多いことから、間接的に学情センターの利用を促しているとも言える。学情センターとして協力可能なことを教員に周知し、講習会や授業での施設利用に対する柔軟かつきめ細かい対応を行うことで、さらに利用を促進できるのではないか。

4. 学情センターの資料、推薦図書制度、講習会について

Q10. 学部学生に必要な図書は学情センターにありますか？

	経営	経済	法	文	理	工	生科	他	総計
十分		2	3	4	2	2	1	3	17
まあ十分		4	6	18	5	6	1	5	45
やや不足	1		1	2	2	2	1	1	10
不足	1					1			2
わからない					1	1		1	3
総計	2	6	10	24	10	12	3	10	77

学部学生に必要な資料が学情センターにあるか質問したところ、「十分」(17件)、「まあ十分」(45件)と全体の80%から、まあ十分以上の回答を得た。

また、Q10を受けて、学情センターに不足している資料としてどのようなものがあるか質問(Q11)したところ、専門書という意見が多く、それぞれ分野は異なるが9件の回答があった。他に、最新版の図書や新刊(3件)、教科書類の複本(2件)、新書(2件)などの意見があった(詳細に関しては付録C)。

不足していると捉えられている資料が学情センターにないわけではなく、学部学生に読ませたい時に利用できない(登録作業中や貸出中)という状況も考えられる。予算の限界で複本の購入が減っていることは否めないが、新刊購入から利用提供までのスピードアップを図ることや、延滞が発生しない電子ブックの積極的購入なども含めて、ニーズに応える努力をしていかなければならない。

Q12. 学生用推薦図書制度を使われていますか？

	経営	経済	法	文	理	工	生科	他	総計
使っている	1	3	4	13	3	7		3	34
使っていない	1	3	6	11	7	5	3	7	43
総計	2	6	10	24	10	12	3	10	77

学生用推薦図書制度について質問したところ、「使っている」(34件)、「使っていない」(43件)という回答を得た。

使っていないと回答した場合にその理由を尋ねた(Q13)ところ、回答が最も多かったの

は「必要な資料は学情センターにある」で 14 件であった。しかし「手続きがわかりにくい」(8 件)、「知らなかった」(8 件)、「面倒」(5 件)などの理由もあり、利用を促進するためにはこれらの点について改善が必要である。

Q14. 学部学生に対して、図書館にどのような講習会を希望されますか？(複数回答可)

	回答数
文献の探し方(OPAC、データベース等)	59
引用や著作権について	39
図書館の使い方	34
ネット情報の探し方や評価	32
レポートの書き方	22
文献情報の管理(EndNote basic 等)	19
必要ない	1
その他	4

図書館への講習会の要望について質問したところ、最も回答が多かったのは「文献の探し方(OPAC、データベース等)」であった。また、「引用や著作権について」という回答も多く、過半数を超えている。

逆にレポートの書き方や文献情報の管理のような、研究に関わる部分の指導に関しては図書館に求められている役割としては小さいことがわかる。また回答として最も少ない「文献情報の管理(EndNote basic 等)」でも 19 件を超えており、「必要ない」が 1 件であることから、情報検索に不慣れな学部学生を対象とした講習会への需要はあると考えられる。

近年、自由参加の講習会に参加する学部学生が少ないことから、授業との連携をさらに強めつつ、授業時間を消費しない形で受講してもらえる e ラーニングコンテンツの作成・提供に取り組むなど、内容の見直しを進めていきたい。

5. 今後重要になる図書館サービスについて

学部学生・大学院学生を対象として行われた 2018 年度利用者アンケートにおいては、今後充実して欲しい項目の上位が「インターネット環境」、「学情センター内の環境の快適さ」、「紙の資料」であった。今回は、それ以外の図書館サービスで今後重要になると思われるものについて教員にも質問した。

Q15.学生アンケートでは、学情センターで今後充実して欲しい項目として、「インターネット環境」「環境の快適さ」「紙の資料」が上位でした。それ以外で、学修支援において、今後いっそう重要になると思われる図書館サービスを3つお選びください。

	回答数
電子資料（教科書の電子ブック等）	41
グループ学習のための施設	28
e ラーニングコンテンツ(文献の探し方等)の提供	24
自習スペース	21
映像資料	20
窓口での相談	17
自習用パソコン	16
講習会	10
授業への出前講習(授業連携ガイダンス)	8
SNS 等による相談	6
その他	10

この結果から、大きく分けて以下の2つが図書館サービスとして重要になると思われると考えられる。即ち（1）電子資料やeラーニングコンテンツ、映像資料などの情報資源の提供、（2）グループ学習のための施設、自習スペースのような空間としての図書館の利用、の2つである。これらは今後重要になる図書館サービスのうち上位5つを占めている。

それらの下に（3）窓口やSNSでの相談などのレファレンスサービス、（4）自習用パソコン、（5）講習会や授業連携ガイダンス、が続く。Q14も併せて考えると、講習会に関しては必要がないわけではないが、全体としてみたときの優先順位は低いと考えられる。

また、回答「その他」の具体的内容としてQ16に書いてもらったところ、洗練されたデザインのレストラン、学情センターにできることの発信、他大学の学生が書いた論文の検索、大学図書館としての研究教育との連携、より進んだ情報検索に関する講習会、統計処理ソフトの使用方法に関する講習会、文献引用に関する倫理教育、開館時間の延長などの意見が

あった。図書館デザインに関する意見などは、新大学での図書館のあり方を検討するうえでも参考にすべきものである。

Q15 の回答で上位にあがった項目は、今後どこに予算を投入すべきかを示す指針のひとつである。特に情報資源については、印刷資料以外の多様な形態の資料についても充実を図っていく必要があり、どのような内容のものを購入するか、選定には教員との連携が欠かせないものと思われる。

【教員アンケート】学部学生の図書館利用に関するアンケート

学部学生についてお答えください。

いただいた回答は、個人が特定できないように利用します。なお、自由記述の内容は、学内で共有させていただく場合がありますので、ご了承ください。

Q1. 利用者区分 ※

☐本務教員 ☐特任教員 ☐非常勤講師 ☐その他

Q2. 所属 ※

経営学研究科 経済学研究科 法学研究科 文学研究科 理学研究科 工学研究科
生活科学研究科 都市経営研究科・創造都市研究科 その他

Q3. 近年、学部学生の図書の貸出が減少しています。理由として最もあてはまると考えられるものを一つお選びください。 ※

- ☐Web から入手可能な学術情報が増えた
- ☐学情センターに必要な図書がない
- ☐図書を利用する課題が減った
- ☐Web 情報だけで間に合わせる学生が増えた
- ☐学情センターから借りる以外の方法で図書を入手している(購入、共有等)
- ☐学生の自習時間が減った
- ☐その他

Q4. Q3 で「その他」と回答された方) 具体的な理由をご記入ください。
(自由記述)

Q5. 学部学生の図書の貸出が減少していることをどう思われますか? ※

☐大いに問題である ☐やや問題である ☐あまり問題ない ☐全く問題ない

Q6. Q5 の回答について、「大いに問題である」「やや問題である」とされた方はどう対処すべきか(しているか)を、「あまり問題ない」「全く問題ない」とされた方はその理由をご記入ください。
(自由記述)

Q7. 学部学生への授業やゼミの中で、資料・情報収集についてどのように指導・指示されていますか?(複数回答可) ※

- ☐図書や雑誌論文の探し方について説明している
- ☐文献リストを配布している
- ☐必要な文献・資料は配布している
- ☐オープンアクセスの文献を入手できるよう、リポジトリや CiNii を紹介している
- ☐図書や雑誌論文等を使うよう指導している
- ☐特定の Web サイト(学会 HP 等)をチェックするよう指示している(サイトを Q8 にご記入ください)
- ☐特に指導・指示していない
- ☐指導の機会がない(授業・ゼミを担当していない等)
- ☐その他

Q8. Q7 について、具体的な内容を可能な範囲でご記入ください。
(自由記述)

Q9. 学部学生への授業やゼミで学情センターを利用されますか？利用される場合は、場所や使い方をお答えください。(複数回答可) ※

- ☐ 教室(9F 情報教育実習室、6F セミナールーム) ☐ ラーニングコモンズ(5F)
☐ アカデミックコモンズ(6F) ☐ ツクルマ(1F)
☐ 館内を案内する ☐ 館内で資料を使って授業やゼミを行う
☐ 情報検索端末(2F)や OPAC 端末で検索指導を行う
☐ 学情センターに講習会を依頼する
☐ その他 ☐ 使わない

Q10. 学部学生に必要な図書は学情センターにありますか？ ※

- ☐ 十分 ☐ まあ十分 ☐ やや不足 ☐ 不足 ☐ わからない

Q11. 学情センターに不足していると思われる資料(分野、レベル等)があればご記入ください。
(自由記述)

Q12. 学生用推薦図書制度を使われていますか？ ※

- ☐ 使っている ☐ 使っていない

Q13. Q12 で「使っていない」と回答された方)使っていないのはなぜですか？(複数回答可)

- ☐ 必要な資料は学情センターにある ☐ 手続きがわかりにくい
☐ 利用可能まで時間がかかる ☐ 面倒 ☐ 知らなかった ☐ その他

Q14. 学部学生に対して、図書館にどのような講習会を希望されますか？(複数回答可) ※

- ☐ 図書館の使い方 ☐ 文献の探し方(OPAC、データベース等)
☐ ネット情報の探し方や評価 ☐ 文献情報の管理(EndNote basic 等)
☐ 引用や著作権について ☐ レポートの書き方 ☐ その他 ☐ 必要ない

Q15. 学生アンケートでは、学情センターで今後充実して欲しい項目として、「インターネット環境」「環境の快適さ」「紙の資料」が上位でした。それ以外で、学修支援において、今後いっそう重要になると思われる図書館サービスを 3 つお選びください。 ※

- ☐ 電子資料(教科書の電子ブック等) ☐ 映像資料
☐ 自習スペース ☐ グループ学習のための施設 ☐ 自習用パソコン
☐ 窓口での相談 ☐ SNS 等による相談
☐ 講習会 ☐ 授業への出前講習(授業連携ガイダンス)
☐ e ラーニングコンテンツ(文献の探し方等)の提供 ☐ その他

Q16. Q15 で「その他」と回答された方)具体的な内容をご記入ください。
(自由記述)

Q17. 学修支援に関して、学情センターへのご意見・ご要望がありましたら、ご記入ください。
(自由記述)

○ 本アンケート内容について、より詳しくご意見をうかがいたい場合にご協力いただける方は、お名前・連絡先(メールアドレス)をご記入ください。

※は必須項目

令和元年度

大阪市立大学学術情報総合センター事業年報

大阪市立大学学術情報総合センター

〒558-8585 大阪市住吉区杉本 3-3-138

☎ (06) 6605-3211

発行 令和 2 年 10 月